

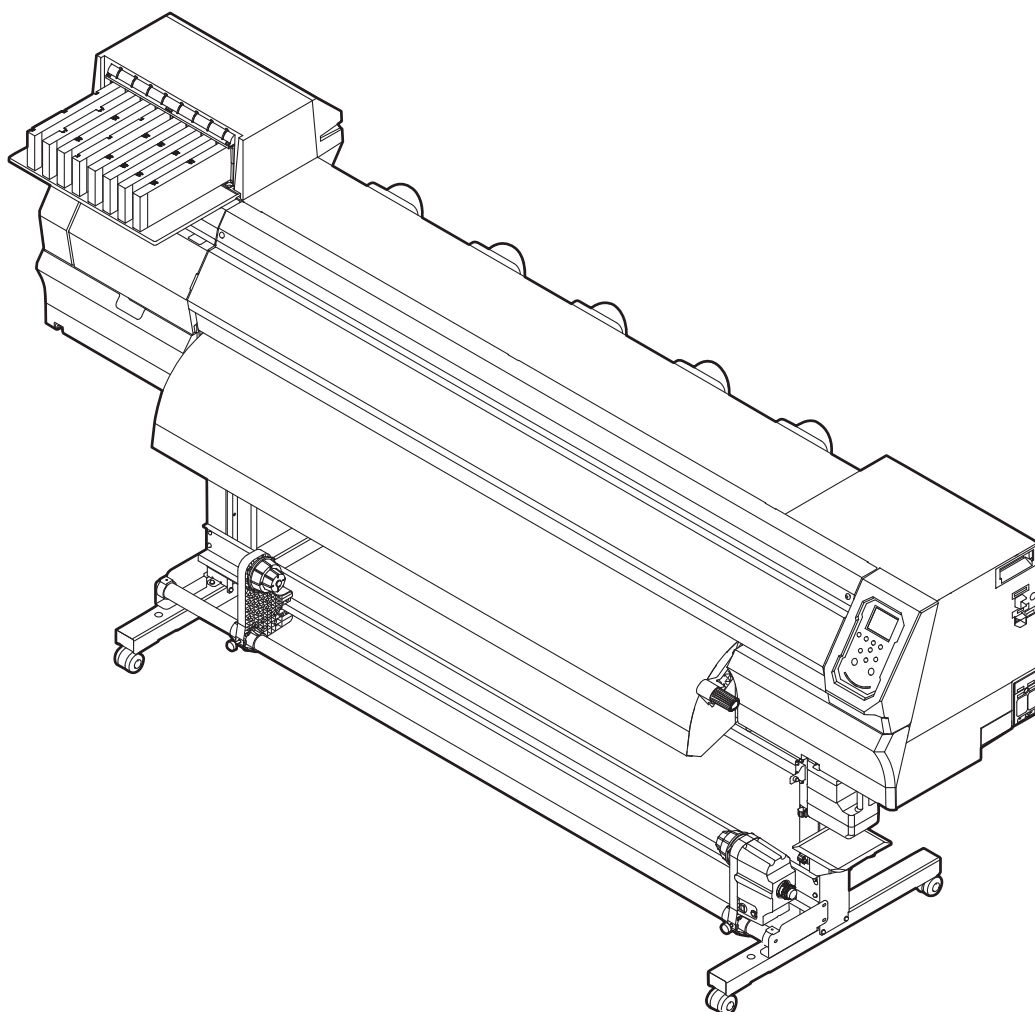
Operation Manual

INKJET PRINTER

JV100-160

Cartridge-ink model

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203527-17

Original instructions

目次

はじめに	5
安全にお使いいただくために	6
シンボルマーク表示について	6
使用上の警告と注意	7
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項.....	11
インク仕様.....	12
インク消費有効期限に対する本機の制限について.....	12
設置上のご注意.....	13
設置スペース	14
本機を移設したいとき.....	14
安全インターロックについて	15
警告ラベル.....	16

第1章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき.....	20
正面.....	20
背面/右側面.....	21
キャリッジ.....	22
キャッピングステーション.....	22
ピンチローラーとグリットローラー	22
プラテン	23
インクステータスランプ	23
メディアセンサー	24
電源スイッチ	24
操作パネル.....	26
1.2 電源ケーブルを接続する	30
電源を入れる	30
電源を切る.....	31
1.3 本機とコンピューターを接続する.....	33
USBケーブルを使う	33
LANケーブルを使う.....	33
1.4 システム構成	35
Mimakiドライバーをインストールする	36
RIP用ソフトウェアをインストールする	36
カラープロファイルを入手する	36
RIP用ソフトウェアを準備する.....	36
1.5 インクの交換方法.....	38
インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき.....	38
インクパック交換（インクエンド）が表示されたとき	39
インクを交換する.....	40

第2章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ.....	46
2.2 プリントヘッドの高さを調整する.....	49

2.3 メディアをセットする.....	51
メディアについて.....	51
巻き取りユニットについて.....	51
ロールメディアをセットする.....	53
2.4 ヒーターの温度を設定する.....	57
2.5 テストプリントをする.....	58
テストプリントの配置方向を変更する.....	58
吐出不良について.....	59
2.6 ヘッドクリーニングをする.....	60
2.7 フィード補正をする.....	61
フィード補正の手順.....	61
2.8 ドット位置補正をする.....	63
ドット位置補正の手順.....	63
2.9 RIPデータを準備する.....	65
2.10 プリントする.....	67
原点を変更する.....	67
プリントを開始する.....	67
プリントを中止する（データクリア）.....	68
2.11 メディアを裁断する.....	69

第3章 各種設定

3.1 設定メニュー.....	72
設定タイプ名称の変更方法.....	74
3.2 メンテナンスメニュー.....	76
ノズルリカバリーを登録する.....	77
3.3 マシン設定メニュー.....	80
600mlインクカートリッジの登録と補正.....	83
イベントメール機能の設定.....	85
3.4 ノズルチェックメニュー.....	88
3.5 情報メニュー.....	89

第4章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意.....	92
------------------------	----

4.2 メンテナンスの方法	93
メンテナンス項目とタイミング	93
インクのメンテナンス.....	94
ワイパーの清掃.....	94
キャップゴムの清掃	96
NCUの清掃	97
キャリッジ底面の清掃.....	97
自動補正センサー（DAS）の清掃.....	98
インク排出経路の洗浄	99
メディアセンサーの清掃	100
メディア押さえの清掃.....	101
プラテンの清掃.....	101
カバー（外装）の清掃.....	102
長期間使用しないときは	102
4.3 消耗品の交換	105
ワイパーの交換.....	105
ワイパークリーナーの交換.....	106
キャップの交換.....	107
キャップ吸収材の交換.....	108
吹き付けファンフィルターの交換.....	110
ピンチローラーの交換.....	110
メディア押さえの交換.....	111
メディア裁断カッターの交換	113
廃インクタンクの交換.....	114

第5章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは	120
電源が入らない.....	120
プリントできない	120
メディア詰まり、メディアが汚れる	120
画質不良が発生した	121
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない.....	123
インクが漏れた.....	123
5.2 メッセージを表示するトラブル	124
ワーニングメッセージ.....	124
インクエラー	126
エラーメッセージ	127
SYSTEM HALT	132

第6章 付録

6.1 仕様.....	134
6.2 リレーBOXについて	136
6.3 乾燥ファンユニット（OPT-J0351）	137
6.4 LICENSE Library (EPL5 StarterWare).....	138

はじめに

この度はインクジェットプリンター JV100-160をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2020 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- JV100-160（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。


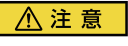




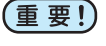


● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをし、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110番に相談してください。
（大阪）072-727-2499 24時間対応
（つくば）029-852-9999 9～21時対応

注記



- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

⚠ 警告



- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

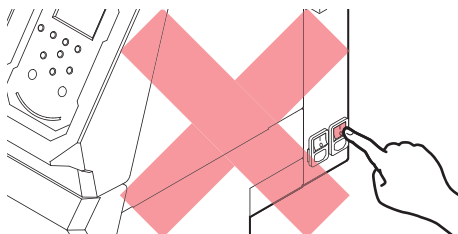


- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注記



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注意



- ・ 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- ・ 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警告



- ・ 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● カッターの取り扱いについて

⚠ 注意



- ・ カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

● ヒーターについて

⚠ 注意



- ・ ヒーターは非常に高温になりますので、素手で触らないでください。

注記



- ・ 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起こると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 60)
またプラテンヒーターの温度を35°C以下に設定して、環境温度は動作可能環境温度（20°C~30°C）にしてください。☞ 「設置上のご注意」 (P. 13)

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警告



- ・ 本機に子供を近づけないでください。

注記



- ・ クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

-
- 重要!** • プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。
-

● 本機の廃棄について

⚠ 注意

- !**
- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
 - お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。
-

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
 - 密閉した状態で保管してください。
 - 冷暗所で保管してください。
- (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。

インク仕様

項目	内容	
種類	専用ソルベントインク（弊社純正品）	
カラー	シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ライトシアン（Lc） ライトマゼンタ（Lm） ライトブラック（Lk） オレンジ（Or）	
形態	カートリッジ	
インク容量	600ml	
消費有効期限	インクパックに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。	
保存温度	保存時	10 - 35°C（1日の平均気温） ただし、30°Cの場合1か月以内 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 40°C ただし、60°Cの場合120 時間以内、40°Cの場合1か月以内 • 0°Cより低温になる場所、40°Cより高温になる場所は、できる限り避けること。 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例) 消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。



- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。ソルベントインクの場合、インクに引火するおそれがあります。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



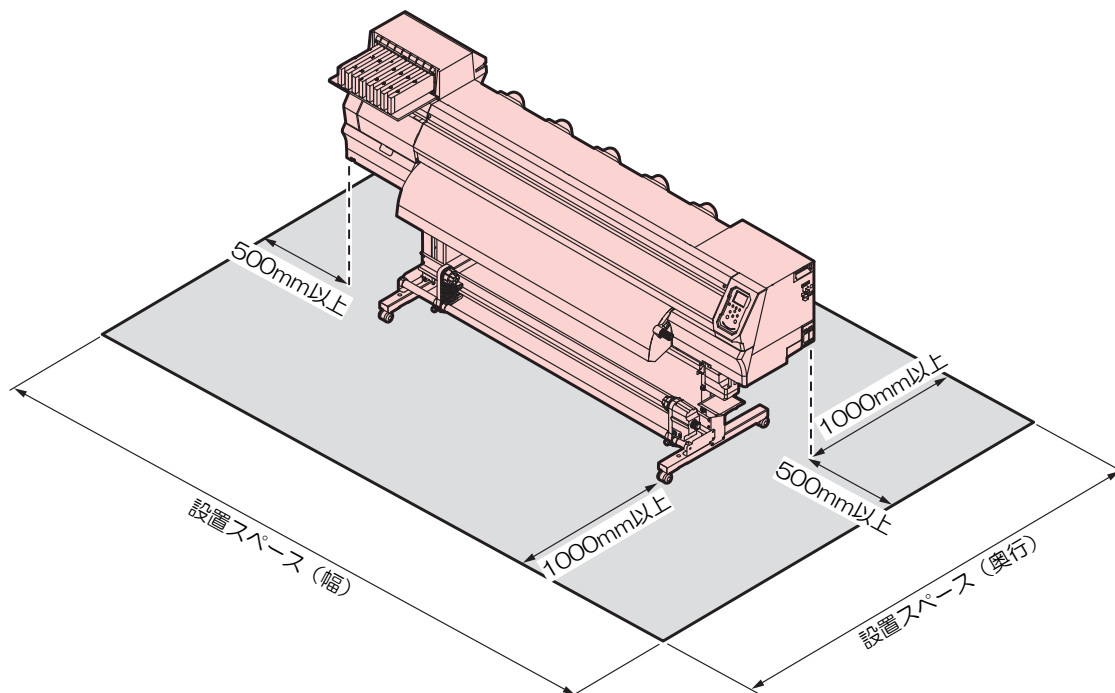
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	JV100-160
幅 ^{*1}	3,775 mm以上 (2,775 mm)
奥行き ^{*1}	2,700 mm以上 (700 mm)
高さ ^{*1}	(1,392 mm)
重量	166 kg

*1. () 内は、本機のサイズ

本機を移設したいとき

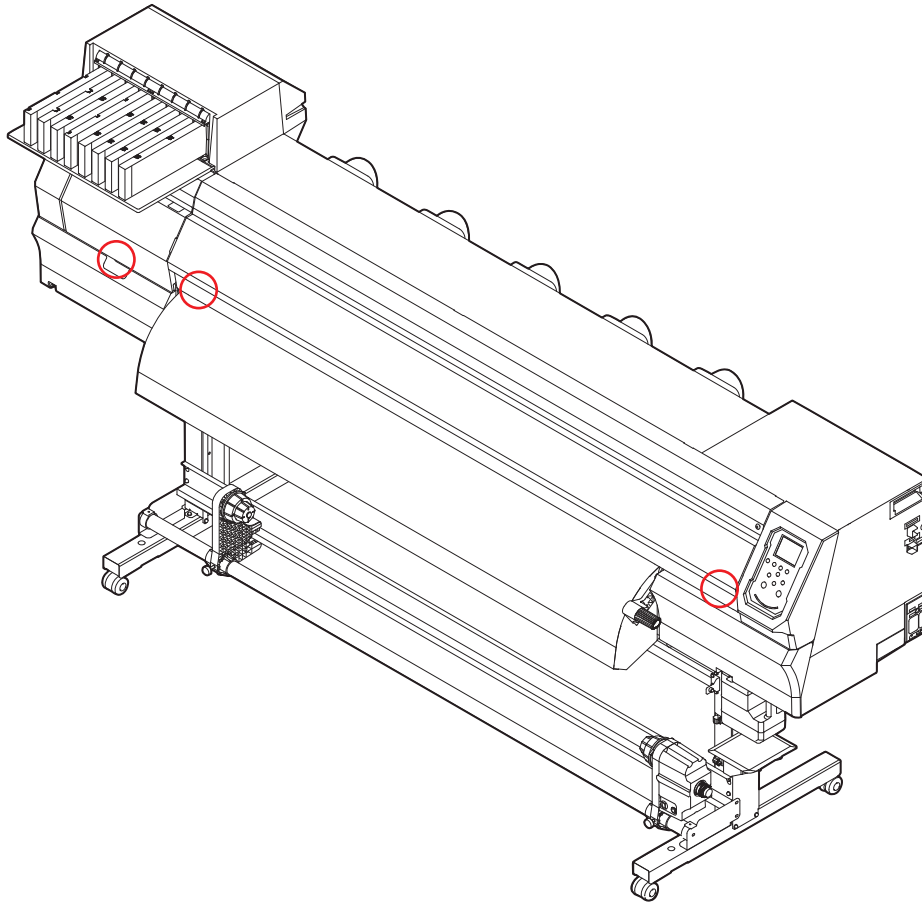
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

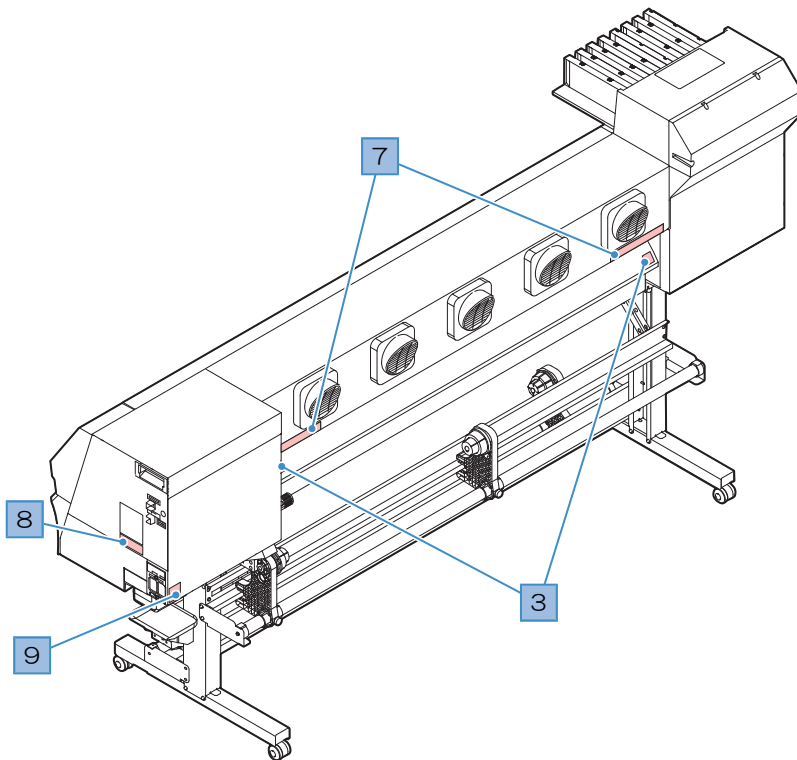
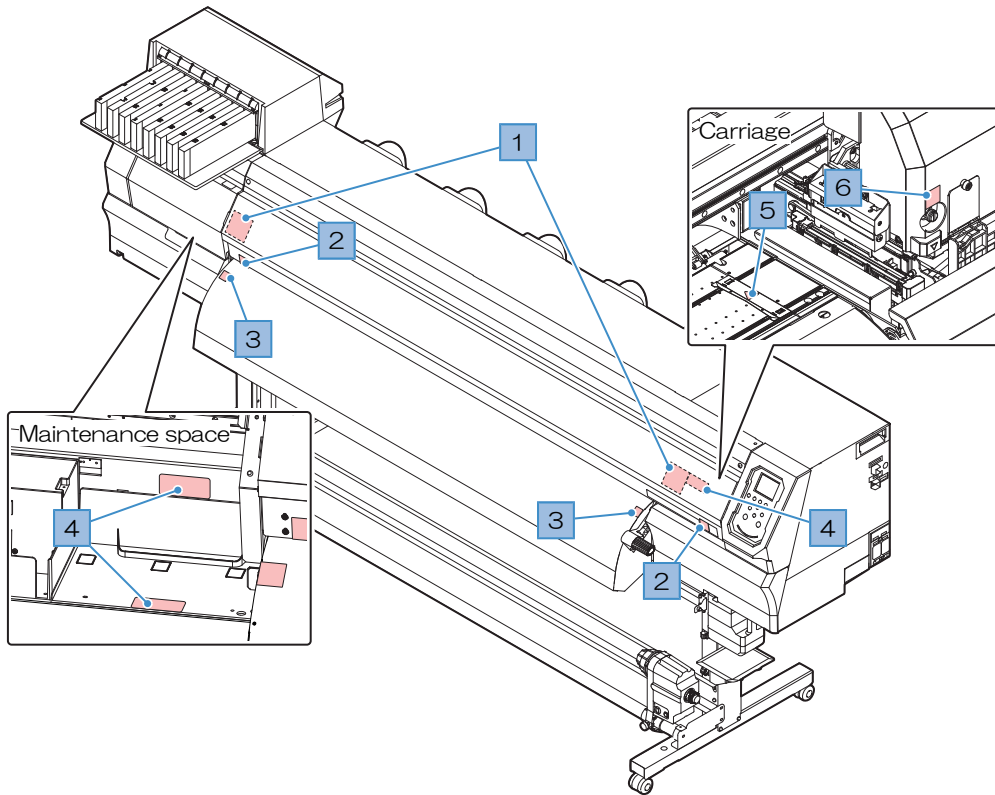
- インターロック設置場所



警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M907833		危険な可動部を示しています。
3	M903239		高温部を示しています。
4	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
5	M906144		高温部を示しています。
6	M903405		カッターに注意してください。
7	M905811		危険な可動部を示しています。
8	M906031		電源ケーブルについて説明しています。
9	M907935		危険な電圧部を示しています。

第1章 ご使用前に



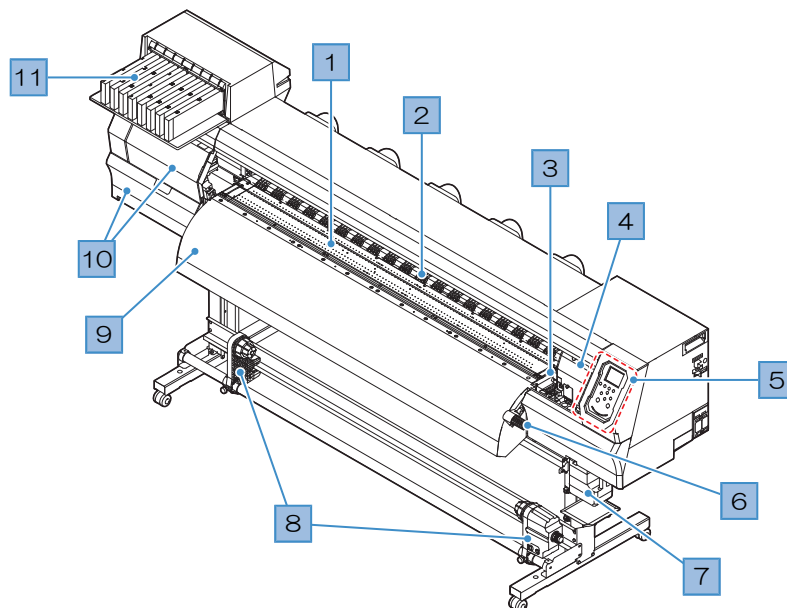
この章では...

各部の名称など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....	20	本機とコンピューターを接続する	33
正面.....	20	USBケーブルを使う	33
背面/右側面	21	LANケーブルを使う.....	33
キャリッジ	22	システム構成.....	35
キャッピングステーション.....	22	Mimakiドライバーをインストールする	36
ピンチローラーとグリットローラー.....	22	RIP用ソフトウェアをインストールする	36
プラテン.....	23	カラープロファイルを入手する.....	36
インクステータスランプ.....	23	RIP用ソフトウェアを準備する.....	36
メディアセンサー	24	インクの交換方法.....	38
電源スイッチ.....	24	インクレベルロー、インクニアエンドが表示	
操作パネル	26	されたとき	38
電源ケーブルを接続する.....	30	インクパック交換（インクエンド）が表示	
電源を入れる.....	30	されたとき.....	39
電源を切る	31	インクを交換する	40

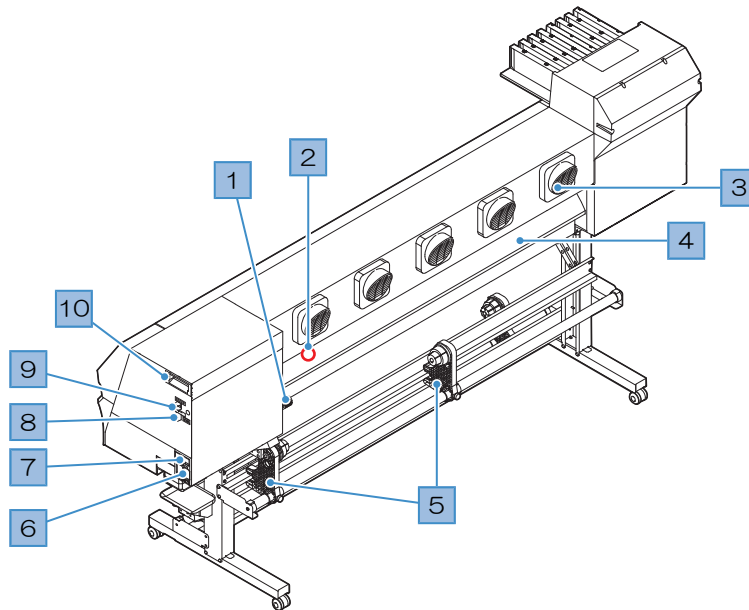
1.1 各部の名称とはたらき

正面



No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。 プラテンにはヒーターが付いています。インクのにじみを抑制します。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「プラテン」(P. 23) ☞「ヒーターの温度を設定する」(P. 57)
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞「ピンチローラーとグリットローラー」(P. 22)
3	キャッピングステーション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。☞「キャッピングステーション」(P. 22)
4	キャリッジ	プリントヘッドやジャムセンサー、メディア裁断カッターなどで構成されています。☞「キャリッジ」(P. 22)
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「操作パネル」(P. 26)
6	クランプレバー（前）	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「廃インクタンクの交換」(P. 114)
8	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞「巻き取りユニットについて」(P. 51)
9	ポストヒーター	プリントしたインクを乾燥させます。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「ヒーターの温度を設定する」(P. 57)
10	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
11	インク供給ユニット	インクカートリッジを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。☞「インクの交換方法」(P. 38)

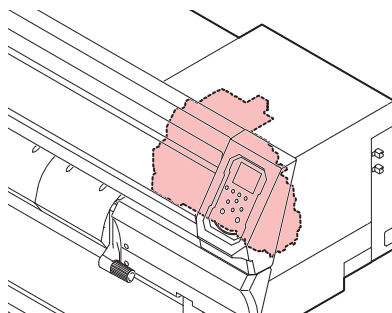
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー（後）	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞ 「メディアセンサー」 (P. 24)
3	吹き付けファン	送風してプリントしたインクを乾燥させます。
4	プリヒーター	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞ 「ヒーターの温度を設定する」 (P. 57)
5	繰り出しユニット	プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙管に対応しています。
6	ACインレット	奥側が本機のインレット（INLET1）、手前がヒーター用のインレット（INLET2）です。付属されている電源ケーブルを使用してください。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 30)
7	主電源スイッチ	奥側が本機の主電源、手前がヒーターの電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞ 「電源を入れる」 (P. 30) ☞ 「電源を切る」 (P. 31)
8	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 33)
9	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 33)
10	メンテナンス液カートリッジ	メンテナンスのときに、メンテナンス液を自動でキャップに充填したり、ワイパーに点滴してインクの凝固を防いだり、インク排出経路のインクの凝固を防いだりする用途に使われています。

キャリッジ

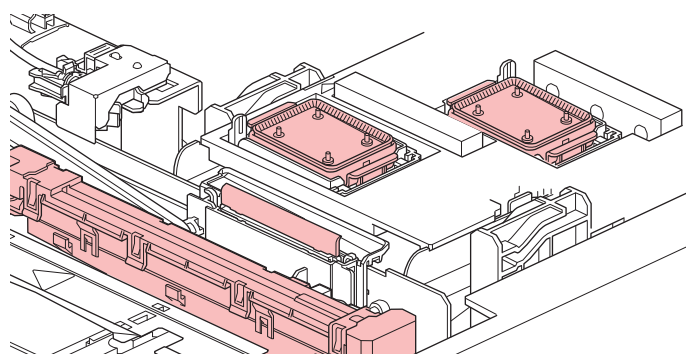
キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッドとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。



キャッピングステーション

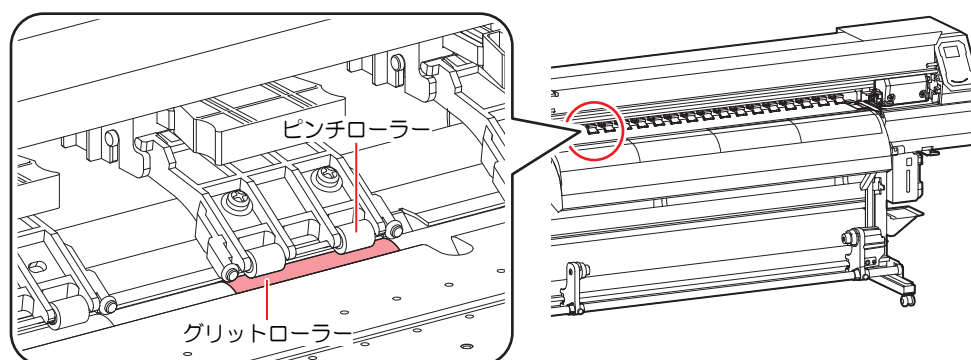
キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU (Nozzle Check Unit) は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。☞ 「ノズルチェックメニュー」 (P. 88) ☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 77)



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。

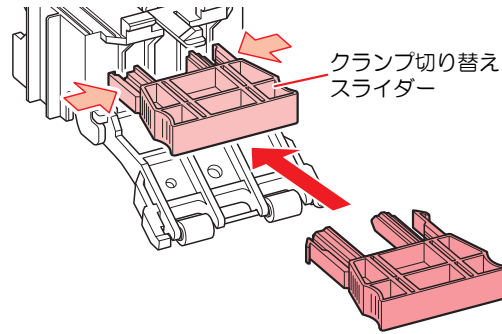


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

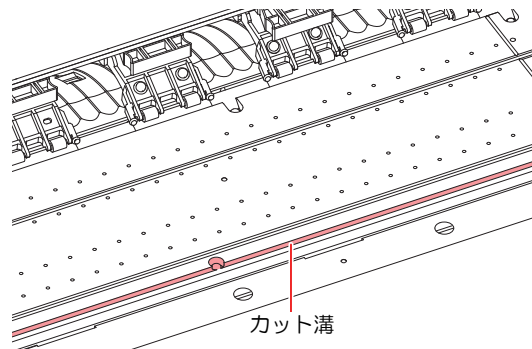


- クランプ切り替えスライダーは、左右のメディア端のピンチローラーに取り付けて使用します。クランプ切り替えスライダーを取り付けると、ピンチローラーを上げることができます。左右のメディア端を押さえないことで、安定してメディアをフィードさせることができます。



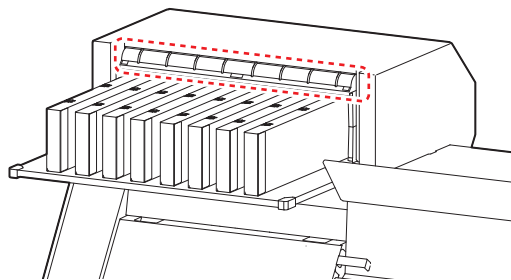
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディアを裁断するカット溝があります。



インクステータスランプ

インク供給ユニットのランプで、インクの状態を確認することができます。

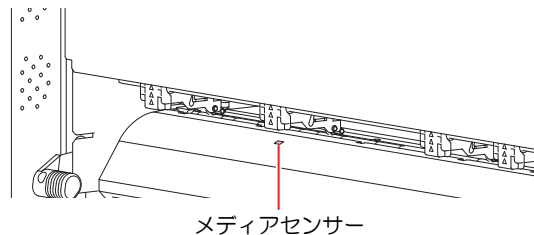


色	状態	概要
-	消灯	異常なし
青	点灯	インク供給中（異常なし）
黄	点灯 点滅	プリントすることは可能です。次のいずれかのエラーが発生しています（☞「 インクエラー 」（P. 126））。 <ul style="list-style-type: none"> • インクニアエンド • インク期限切れ（1か月） • インクレベルロー • Ink Cartridge Check

色	状態	概要
赤	点灯	プリントすることができません。次のいずれかのエラーが発生しています（☞「 インクエラー 」(P.126)）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ インクエンド ・ インクレベルエンド ・ インクICチップが挿入されていない ・ その他のインクエラー
	点滅	プリントすることができません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ インク期限切れ（2か月）

メディアセンサー

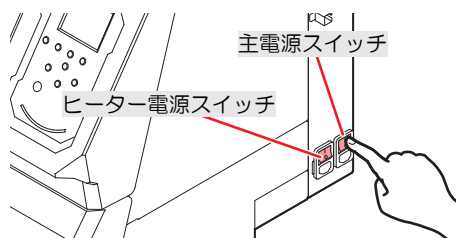
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



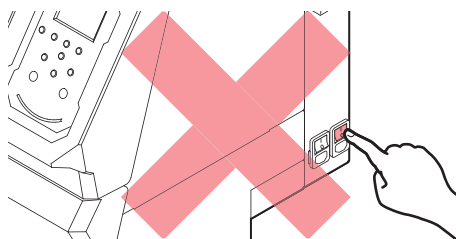
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。

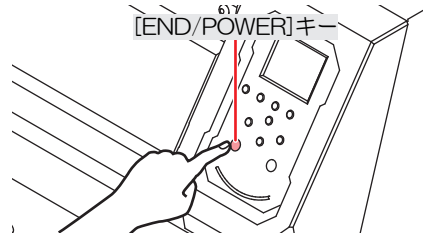


- ・ 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

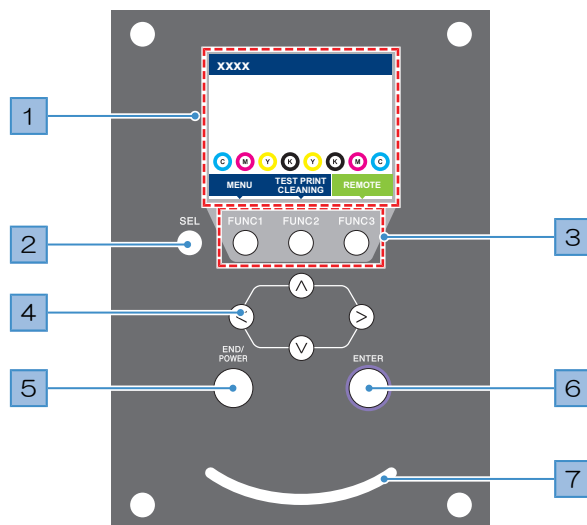
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

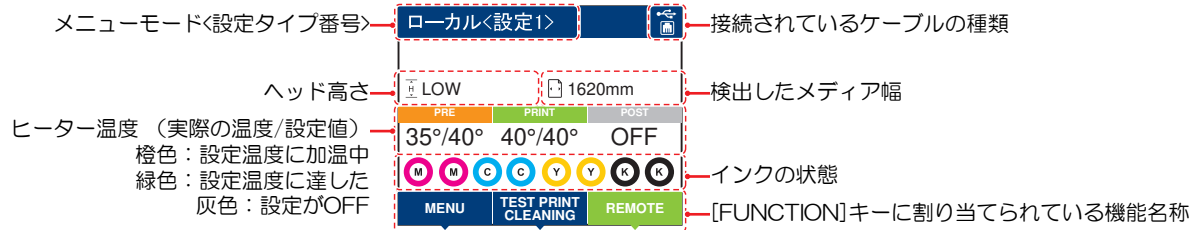
操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要																
1	ディスプレイ	☞ 「ディスプレイ」 (P. 27)																
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。																
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞ 「[FUNCTION]キー」 (P. 28)																
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。																
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞ 「電源を入れる」 (P. 30) 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞ 「電源を切る」 (P. 31) 																
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞ 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 29)																
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">消灯</td> <td>ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水色</td> <td>点灯</td> <td>リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。</td> </tr> <tr> <td>点滅</td> <td>プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。</td> </tr> <tr> <td>青色</td> <td>点灯</td> <td>プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">赤色</td> <td>点滅</td> <td>エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 127)</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 132)</td> </tr> </table>	消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。	水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。	青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。	赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 127)	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 132)
消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。																
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。																
	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。																
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。																
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 127)																
	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 132)																

ディスプレイ



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクパックの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要
	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。
	インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。 *UISS（同じ色のインクが2本装着）の場合は、インクエンドを示します。
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞ 「インクエラー」 (P. 126)
	インクの消費有効期限が切れる则表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞ 「インク消費有効期限に対する本機の制限について」 (P. 12)

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
	各種メニュー画面を表示します。☞ 「各種設定」 (P. 71)
	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
	ローカルモードからリモートモードに移行します。
	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
	ヒーターの温度設定画面を表示します。
	受信データをクリアします。
	リモートモードからローカルモードに移行します。
	メディアを裁断したいときに使用します。
	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
	各種機能を無効にします。
	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
	複数ある項目の有効/無効を切り替えます。

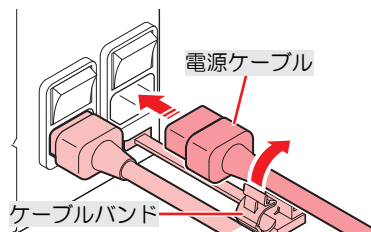
本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

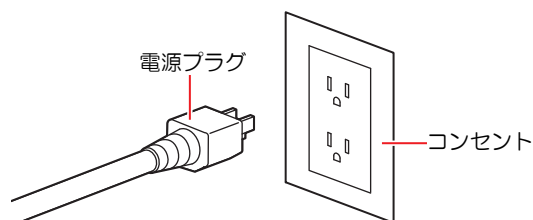
- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- インクICチップ登録情報：インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング：発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを挿し込む。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。
- 4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
 - ・ クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



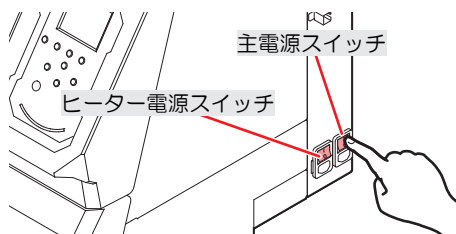
- 5 コンセントに電源プラグを挿し込む。



- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

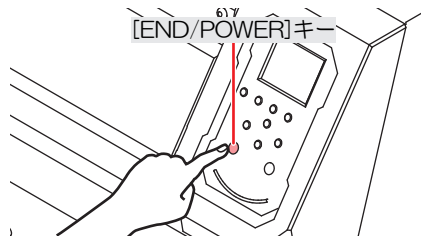
電源を入れる

- 1 主電源が入っていることを確認する。
 - ・ 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



- 電源をOFFしている間に急激な温度変化 ($\pm 10^{\circ}\text{C}$ 以上) を検知した場合、本機を再び起動する時に、自動でメンテナンスが実施されます。本機起動後、ワーニングメッセージが表示されたら、テストプリントを実行して、ノズル状態を確認してください。


3 接続しているコンピューターの電源を入れる。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

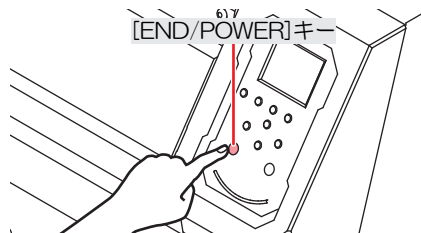


- 電源を切るときは、以下を確認してください。
 - (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
 - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。
 - (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
 - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
 - (3) データを受信していないこと。
 - (4) エラーが発生していないこと。
 -  「メッセージを表示するトラブル」 (P. 124)

1 接続しているコンピューターの電源を切る。

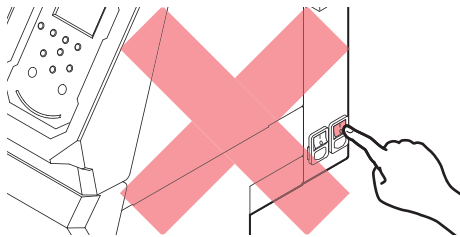
2 [END/POWER]キーを長押しする。

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。





- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

USBケーブルを使う

USBインターフェイスクーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



- USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。



- コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のJV100-160を接続する場合

JV100-160を正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSBハイスピードモードの周辺機器（USBメモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けのUSBハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。



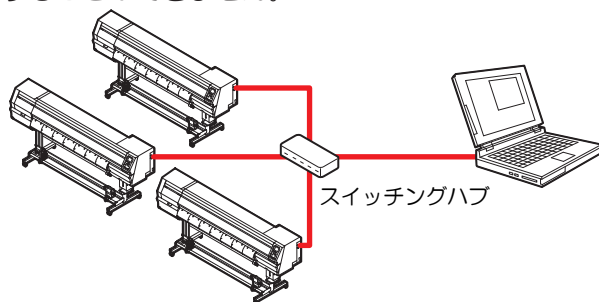
- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6以上のLANケーブルを使用してください。

- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



● LAN接続確認方法

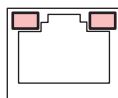
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29）
- “100Mbps”、“10Mbps”、“接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。イベントメールは、使用することができます。☞ 「イベントメール機能の設定」（P. 85）



2 LANコネクターのランプを確認する。

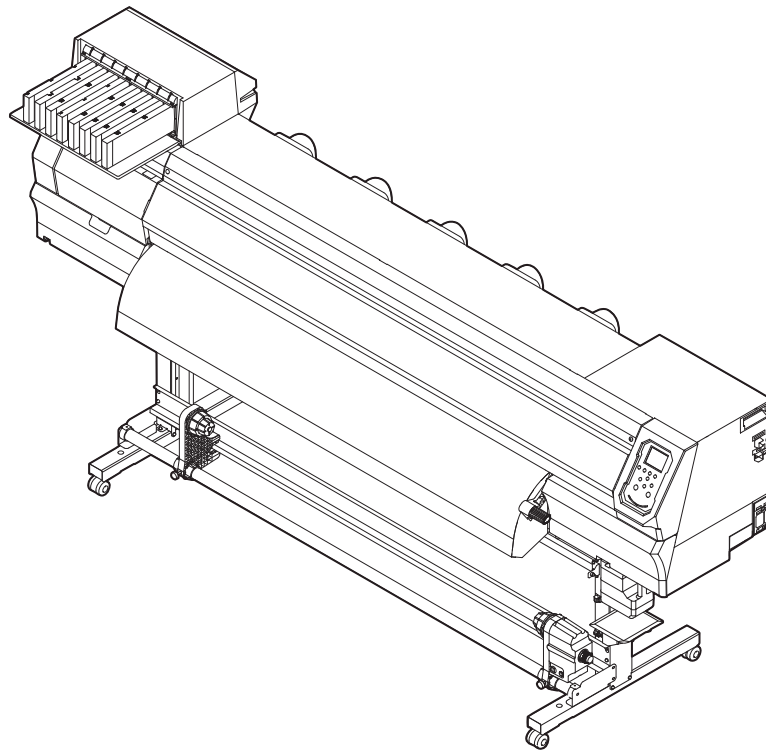
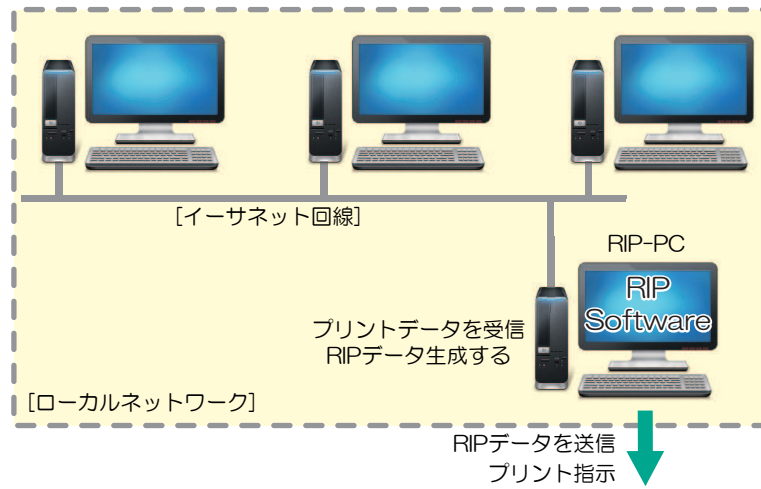
- 本機が起動しているとLANコネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 ・ 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。



Mimakiドライバーをインストールする

- 1 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。
 - <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[JV100-160] > [ドライバ/ユーティリティ]

- 2 MIMAKIドライバーをインストールする。

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

- 1 “RasterLink”をインストールする。
 - インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。“プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
<https://japan.mimaki.com/download/software.html>
[ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[JV100-160] > [プロファイル]

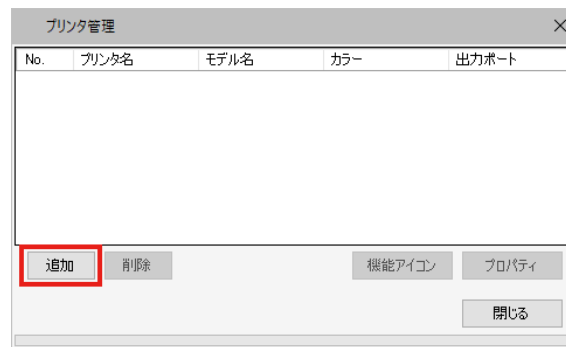
RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

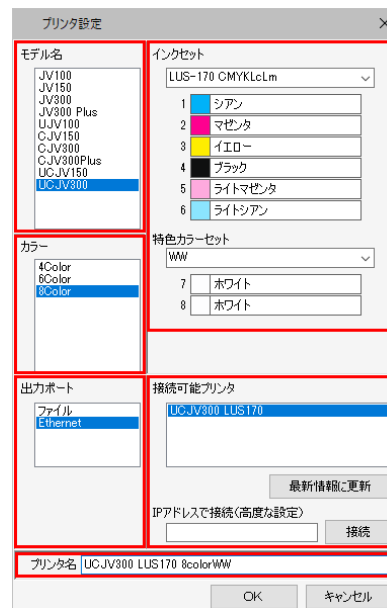
- 1 “RasterLink”を起動する。
 - [プリンタ管理]画面が表示されます。
 - 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 JV100-160を登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) JV100-160の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
 - カラー：充填されているインクセットを選択
 - 出力ポート：接続しているケーブルを選択
 - 接続可能プリンタ：接続しているJV100-160を選択
 - プリンタ名：任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
- 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
- プリンターの登録が開始されます。



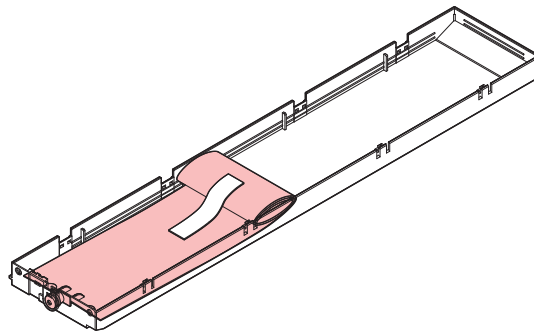
- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

1.5 インクの交換方法

インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき





本機は、インクの消費量をカウントしています。何らかの原因で実際のインク消費量と誤差が生じてしまうことがあります。ワーニングメッセージが表示された場合、操作パネルの画面に従って対処してください。

- 重要!**
- Ink cartridge check（カートリッジチェック）が表示されたら、必ずインクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。インクパックを折り曲げないままプリントを続けると、インクが吐出されなくなるおそれがあります。



- 4色インクカラーセットでご使用されている場合、同色インクパックの2本とも残量が少ない状態で、プリントを続けしないでください。

メッセージ	表示条件*1	プリンター動作		対処方法
		プリント	クリーニング	
Ink cartridge check *F/W ver.4.2以降	<ul style="list-style-type: none"> • 600mlカートリッジのインク残量が250ml未満になったとき。 	可	可	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。 「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)
インクレベル エンド (1回目) *F/W ver.4.2以降	<ul style="list-style-type: none"> • Ink cartridge checkが表示されてから、130mlインクを消費した。 <ul style="list-style-type: none"> - Ink cartridge checkが表示されてから、インクパックの折り曲げとカートリッジの重量補正 (「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)) を実施した場合は表示されません。 	不可*3	不可	2. 測定した重さを本機に入力します。 「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84) 3. インクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。 図のようにインクパックをセットしてカートリッジ重量を入力してください
インクレベルロー	<ul style="list-style-type: none"> • 600mlカートリッジのインクの残量が60ml未満になった。 	可*2	不可	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。 「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)
インクニアエンド	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジの重量補正 (「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)) したあとのインクの残量が60ml未満になった。 	可*2	不可	2. 測定した重さを本機に入力します。 「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)

メッセージ	表示条件 *1	プリンター動作		対処方法
		プリント	クリーニング	
インクレベル エンド	<ul style="list-style-type: none"> 600mlカートリッジのインクの残量が30ml未満になった。 	不可 *3	不可	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジを外して、重さを量ります。 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84) 測定した重さを本機に入力します。 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)
インクパック交換 (インクエンド)	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジの重量補正 ( 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)) したあとのインクの残量が30ml未満になった。 	不可	不可	<ol style="list-style-type: none"> インクパックを交換してください。 「インクを交換する」 (P. 40)

*1. インク残量の値は目安です。

*2. 連続プリントすることができません。ただし4色カラーインクセットの場合は、もう片方のインクカートリッジにワーニングなど発生していなければ、連続プリントすることができます。

*3. 4色カラーインクセットの場合、もう片方のカートリッジに切り替わります。

インクパック交換 (インクエンド) が表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクパックに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」 (P. 11)



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクパックのインクを完全に使い切ることはできません。インクパックには、表示容量+αのインクが充填されています。インクを表示容量を消費するとインクエンドになるため、少量のインクが残ってしまいます。

インクを交換する



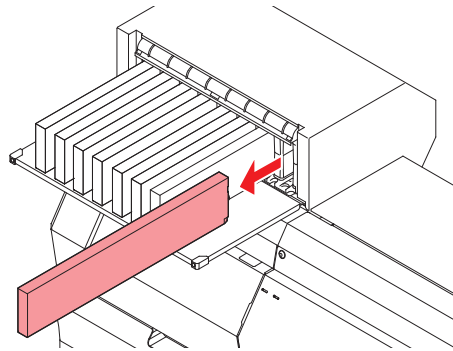
- 新しい600mlインクカートリッジケースに交換する場合は、ケースの重量（☞ 「新しいインクカートリッジケースに交換する」 (P. 83)）を登録します。



- 新しいインクパックに交換する場合は、カートリッジ重量入力（☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)）は不要です。

● インクカートリッジを外す

- 1 インクカートリッジを外す。



● インクパックを交換する

- 1 ケースのツメを指で押して、フタを開ける。



- 2 使用済みのインクパックを外す。

- 3 600mlインクカートリッジケースに新しいインクパックを入れる。

- 両面テープが貼り付けられている方を下に向けて、600mlインクカートリッジケースの溝部にインクパックのコネクターをしっかりとはめ込んでください。ずれているとインクが供給できなくなるおそれがあります。



- 4 インクパックの形を整える。



5 両面テープのシールを剥がす。



6 たるまないようにインクパックを固定する。

良い例	悪い例	
 インクパックとケースの角が合っている	 インクパックとケースの角がずれている	 インクパックが偏っている

7 ケースのフタを閉じる。

- ツメがカチッと音がするまではめ込みます。



- 手や指を挟まないように注意してください。

8 新しいインクICチップに交換する。

- 横にスライドすると外すことができます。

良い例	悪い例	
	 裏表が逆	 前後が逆

- インクICチップのマークは、色情報を示しています。

インクカラー	表示マーク
シアン	● (青丸1つ)
マゼンタ	● (赤丸1つ)
イエロー	● (黄丸1つ)
ブラック	● (黒丸1つ)
ライトシアン	●● (青丸2つ)
ライトマゼンタ	●● (赤丸2つ)
ライトブラック	●● (黒丸2つ)

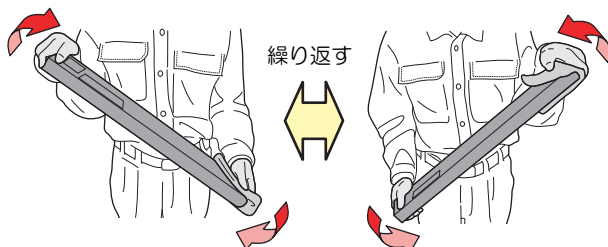
インクカラー	表示マーク
オレンジ	● (橙丸1つ)



- ・ インクと一緒に梱包されているインクICチップを取り付けてください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるICチップを取り付けた場合、プリントすることができません。

9 インクカートリッジを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- ・ インクを流すように左右に振ってください。

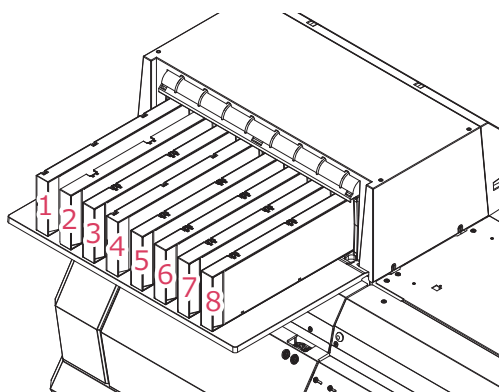


- ・ 使いかけのインクカートリッジの場合は、インクカートリッジの挿し込み口と側面の隙間を紙タオルなどで押さえて、インクカートリッジが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。



● インクカートリッジをセットする

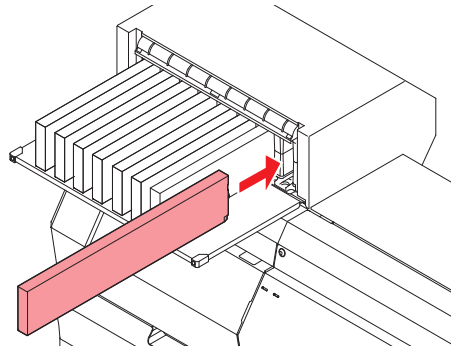
お使いになるインクセットによって、セットするインクカートリッジの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクカートリッジを挿し込んでください。



インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
4-color (C, M, Y, K)	M	M	C	C	Y	Y	K	K
8-color (C, M, Y, K, Lc, Lm, Lk Or)	M	Or	C	Lk	Y	Lm	K	Lc

1 インクカートリッジを挿し込む。

- インクICチップを左側に向けて挿し込みます。



- 奥までしっかりと押し込んでください。インクが供給されないおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

第2章 プリントしてみる



この章では...

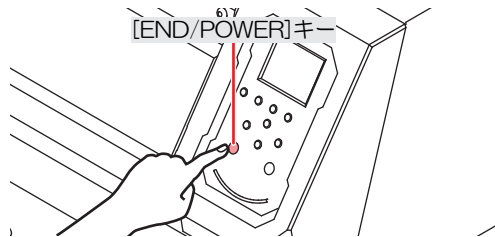
プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ	46	フィード補正をする	61
プリントヘッドの高さを調整する.....	49	フィード補正の手順.....	61
メディアをセットする.....	51	ドット位置補正をする	63
メディアについて	51	ドット位置補正の手順.....	63
巻き取りユニットについて.....	51	RIPデータを準備する.....	65
ロールメディアをセットする	53	プリントする.....	67
ヒーターの温度を設定する	57	原点を変更する.....	67
テストプリントをする.....	58	プリントを開始する.....	67
テストプリントの配置方向を変更する.....	58	プリントを中止する（データクリア）	68
吐出不良について	59	メディアを裁断する	69
ヘッドクリーニングをする	60		

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞ 「電源を入れる」 (P. 30)



2. RIP用コンピューターと本機を接続する

☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 33)

☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 33)

3. RIP用ソフトウェアを準備する

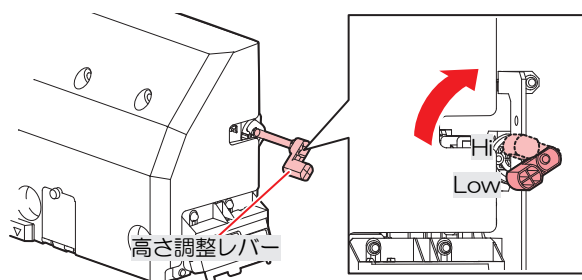
☞ 「RIP用ソフトウェアをインストールする」 (P. 36) (初回のみ)

☞ 「カラープロファイルを入手する」 (P. 36)

☞ 「RIP用ソフトウェアを準備する」 (P. 36) (初回のみ)

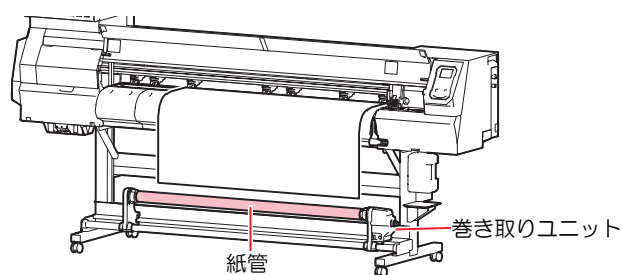
4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。☞ 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 49)



5. メディアをセットする

ロールメディアを使用できます。☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)

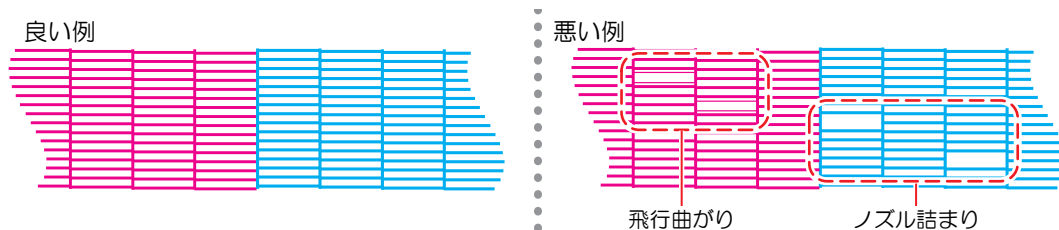


6. ヒーターの温度を設定する

☞ 「ヒーターの温度を設定する」 (P. 57)

7. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞ 「テストプリントをする」 (P. 58)

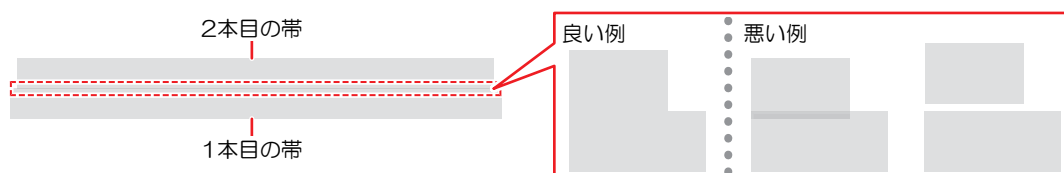


8. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 60)

9. メディアの送り量を調整する

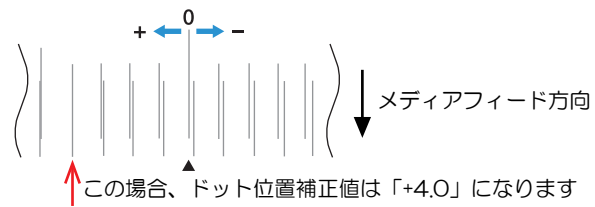
☞ 「フィード補正をする」 (P. 61)



10. 双方向プリントするとき、ドット位置を調整する

2

☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 63)

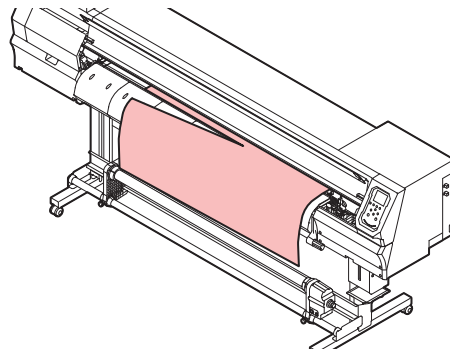


11. RIPデータをプリントする

☞ 「プリントする」 (P. 67)

12. メディアを裁断する

☞ 「メディアを裁断する」 (P. 69)



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

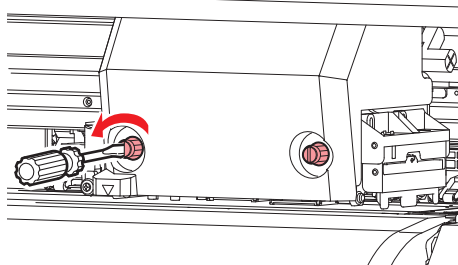
お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	2 mm (初期設定)
High	2.5 mm



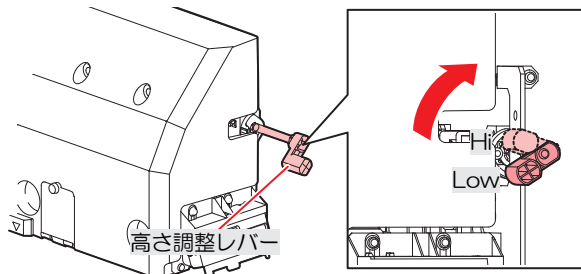
- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。☞
「ドット位置補正をする」(P. 63)
- プリントヘッドの高さはメディアに合わせて調整してください。インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまうおそれがあります。ミスト化したインクがプリントヘッドのノズル面やメディアに付着して、プリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 キャリッジカバーのネジを緩める。
 - マイナスドライバーなどを使い、1回転程度回してください。

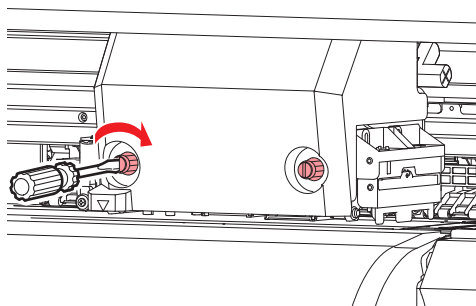


5 高さ調整レバーで高さを変更する。

- 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



6 キャリッジカバーのネジを締める。



• 高さ調整レバーをさわらないでください。

7 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

2.3 メディアをセットする



- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意



- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警告



- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注記



- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。



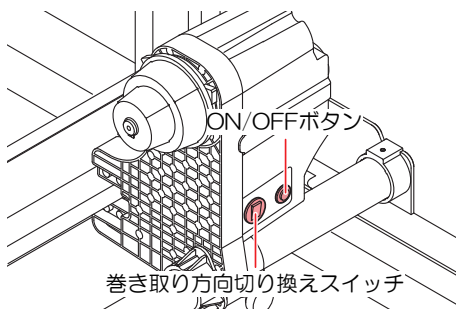
- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

巻き取りユニットについて

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。



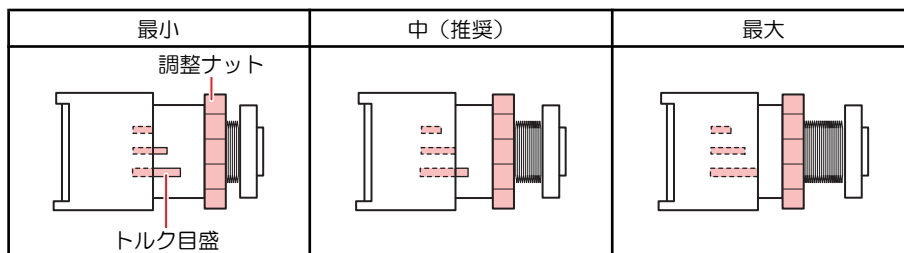
名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	プリント面を内側にして巻き取りたいとき。

名称	概要	
	下	プリント面を外側にして巻き取りたいとき。
ON/OFF ボタン	ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。 ☞ 「マシン設定メニュー」 (P. 80)	

トルクリミッターを調節する

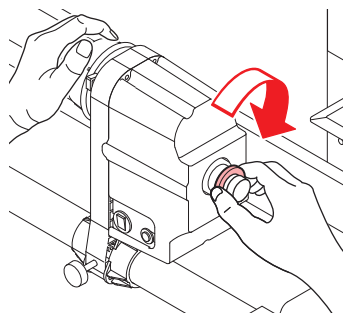
巻き取りユニットには、トルクリミッターが付いています。

トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。工場出荷時は、トルクリミッターは“中”に設定してあります。



● テンションを強くする (時計回り)

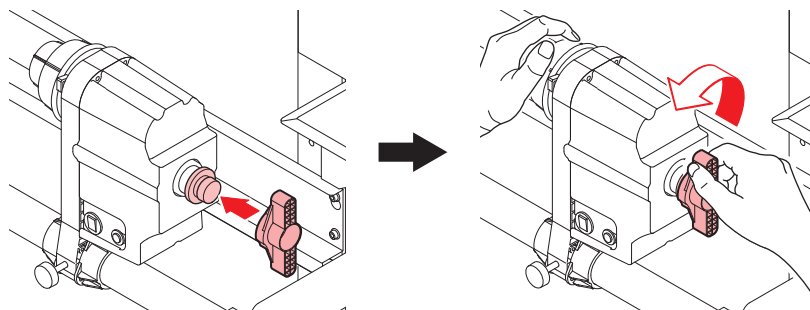
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

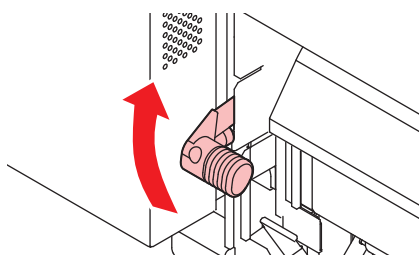
● テンションを弱くする (反時計回り)

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の“トルク調整ハンドル”を使って調整します。



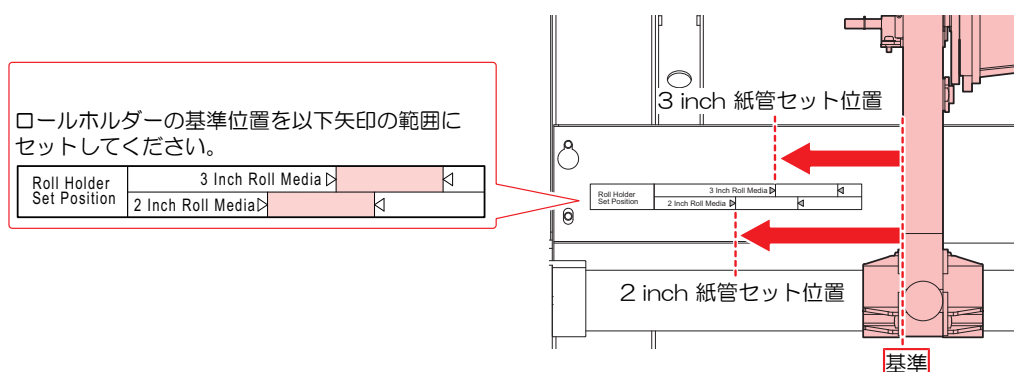
ロールメディアをセットする

- 1 クランプレバーを上げる。

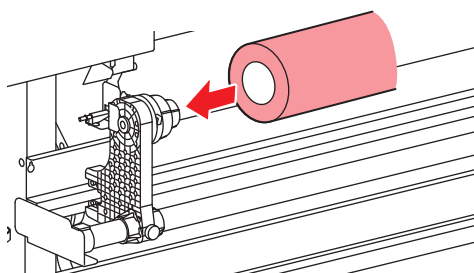


- 2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

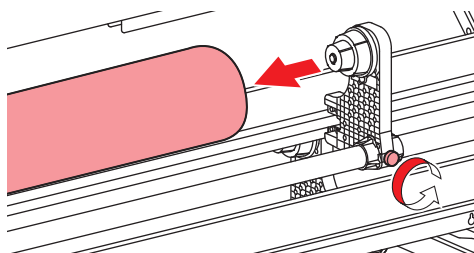
- ロールホルダーの固定ネジを緩めてから移動させます。



- 3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。
- 4 ロールメディアを、ロールメディアハンガーに置く。
- 5 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。
- 紙管が動かなくなるまで、奥に挿し込んでください。



- 6 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。
- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



- 7 背面右側のロールホルダー固定ネジを締める。

8 メディアを挿し込む。

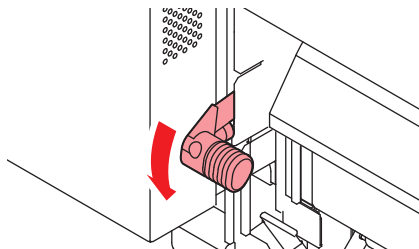
- ・ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。



- ・メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

9 クランプレバーを下げる。

- ・ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



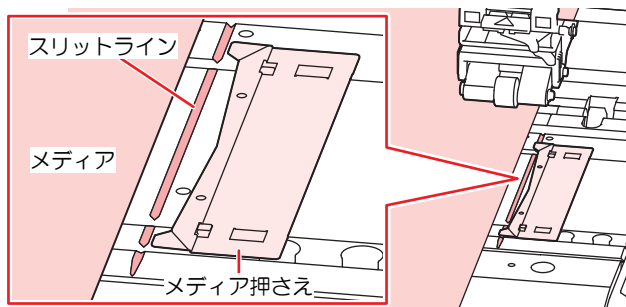
10 本機正面に移動して、正面カバーを開く。

11 クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。

- ・メディアを後方に落とさないようにしてください。

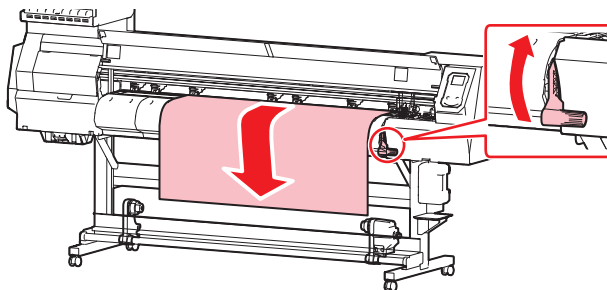


- ・プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



- ・メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

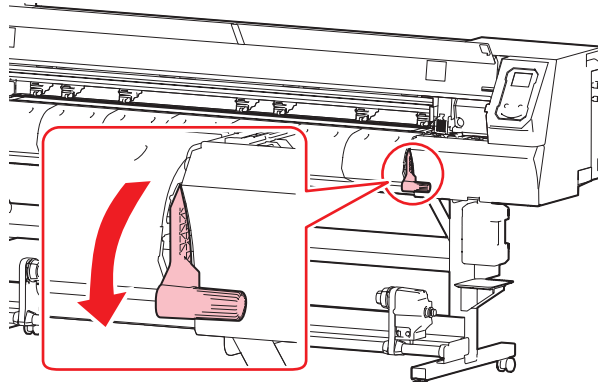
12 メディアを静かに引き出して、軽くロックのかかる位置で止める。



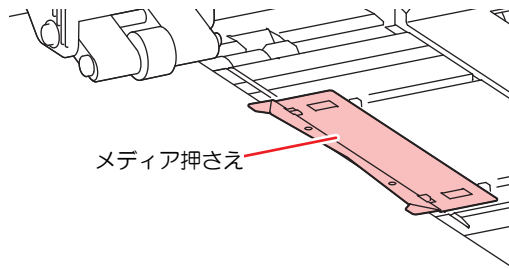
13 メディアの引き出し量を確認する。

- ・メディア前端の数カ所を軽く引っ張り、メディアの引き出し量が均等になっていることを確認してください。

14 クランプレバーを下げる。



15 メディア押さえでメディアをはさむ。



- 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。

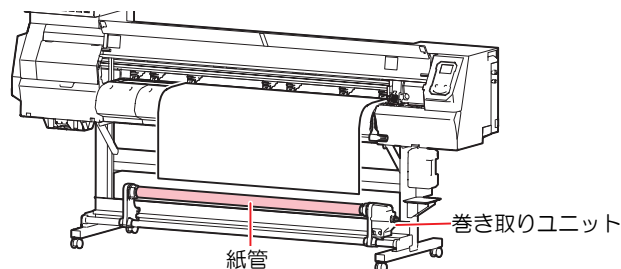
16 を押して、“ロール”を選択する。

- メディア幅の検出を開始します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、“MANUAL”に設定されている場合、プリントする範囲を手動で決定します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量]の設定が、“ON”に設定されている場合、メディア長さ入力画面が表示されます。



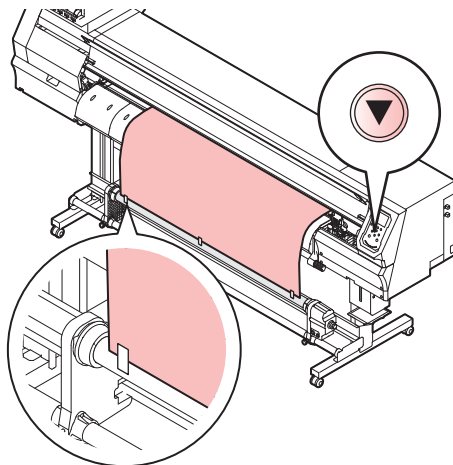
- メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“メディア イチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

17 巻き取りユニットに空の紙管をセットする。

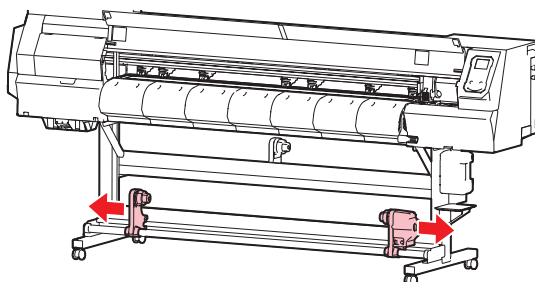


18 巻き取りユニットにメディアを固定する。

- (1) ▼を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードする。
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する。
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する。
 - メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。



- 巻き取りユニットを使わないときは、巻き取りユニットを左右に退避させてください。メディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



2.4 ヒーターの温度を設定する

お使いになるメディアの種類や特性に合わせて、ヒーター温度を設定してください。プリントしている途中でも温度を変更することができますが、色みが変わるおそれがあります。



- RIP用ソフトウェアの温度設定が優先されます。弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）をお使いの場合、カラープロファイルに推奨値が保存されています。



- メディアの種類や特性に合わせて、ヒーターの温度を調整してください。種類によっては、メディアが伸縮したり、メディアが波打ったりしてしまうおそれがあります。

1 ローカルモード画面から、[HEATER]を選択する。

- ヒーター温度の設定画面が表示されます。

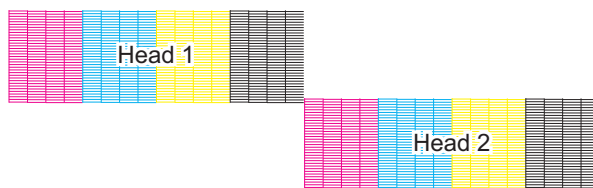
2 各ヒーターの温度を入力して、[ENTER]キーを押す。

- ヒーターの温度が設定値 $\pm 3^{\circ}\text{C}$ に到達すると、プリントすることができます。

名称	概要
PRE（プリヒーター）	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。
PRINT（プリントヒーター）	インクのにじみを抑制します。
POST（ポストヒーター）	プリントしたインクを乾燥させます。

2.5 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 60)



事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」(P. 49)
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」(P. 51)



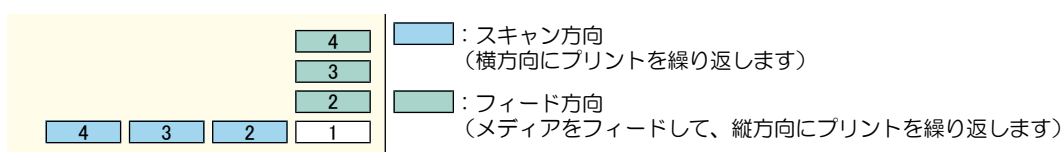
- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



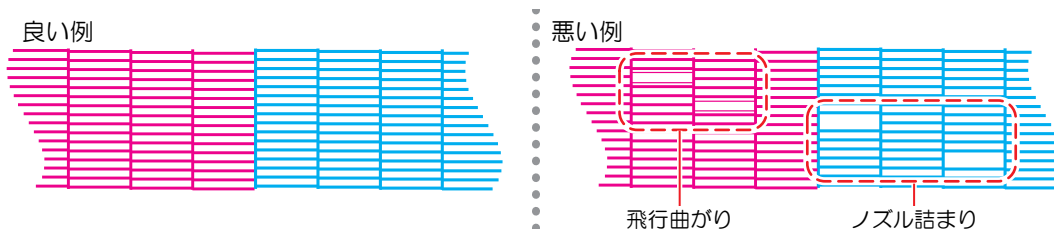
- [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。ノズルリカバリーは登録が必要です。☞「ノズルリカバリーを登録する」(P. 77)

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



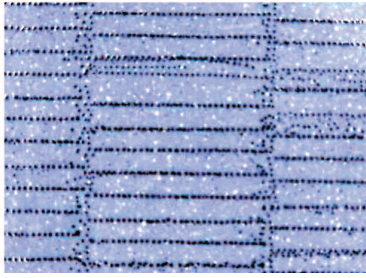
- 1 ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING]>[テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
- 2 [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。



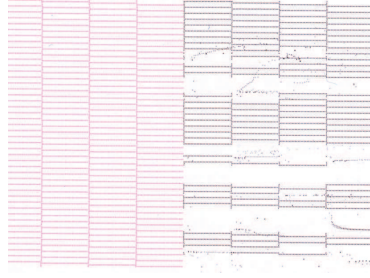
- 3 プリント結果を確認する。

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



飛行曲がり



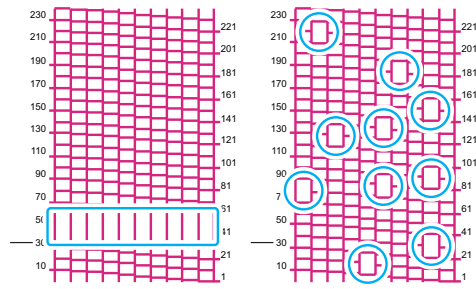
ノズル詰まり



ボタ落ち



ミスト (しぶき)



空気の混入

2.6 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。



- [インクレベルロー]、[インクニアエンド]、[インクレベルエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。クリーニングに必要な量のインクが残っていることがありますので、600mlインクカートリッジの重量補正をしてください。☞ 「[インクカートリッジの重量を補正する](#)」 (P. 84)
重量補正してもワーニングが表示されるときは、新しいインクパックに交換してください。☞ 「[インクを交換する](#)」 (P. 40)

- 1 ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。
- 4 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。
 - プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ヘッドクリーニングで、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
 - ☞ 「[ワイパーの清掃](#)」 (P. 94)
 - ☞ 「[キャップゴムの清掃](#)」 (P. 96)
 - ☞ 「[プリントヘッドのノズル洗浄](#)」 (P. 122)
 インクを充填する ([MENU] > [メンテナンス] > [インク充填])

2.7 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか? ☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? ☞ 「ロールメディアをセットする」 (P. 53)

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。



- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

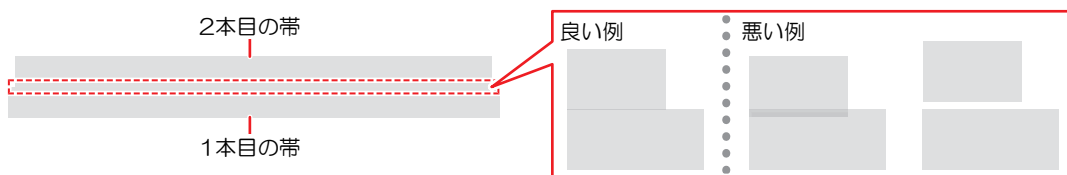


2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "+" 入力：2本の帯の隙間が広がります。
- "-" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

5 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。



- 調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

- 1 リモートモード、もしくはプリント中に、**[ADJUST]**を選択する。
- 2 補正值を入力して、**[ENTER]**キーを押す。
 - 補正值：-9999～9999
 - ここで入力した値は、すぐ補正值に反映されます。

2.8 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 49)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 51)



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順


補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

- 1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



- 2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

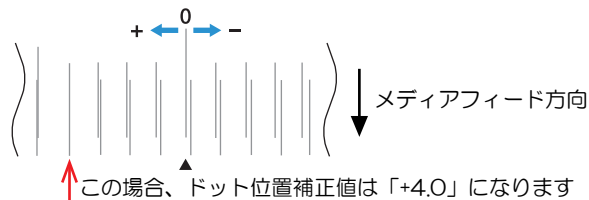
- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。  「設定メニュー」 (P. 72)



- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

- 4 プリント結果を確認する。


- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



- 5 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正値：-40 ~ 40



- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 49)

6 パターン2以降も同様に補正值を入力する。

2.9 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。



- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

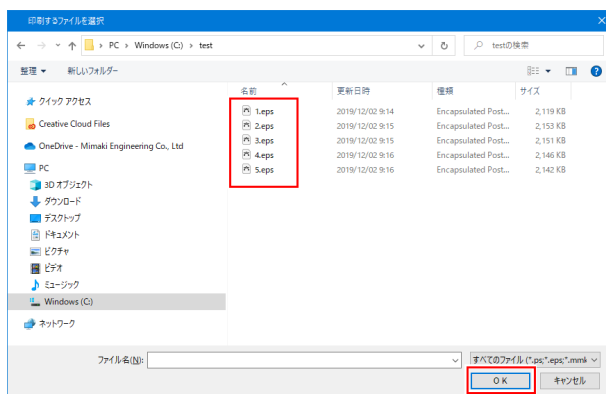
1 “RasterLink”を起動する。

- コンピューターのデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。



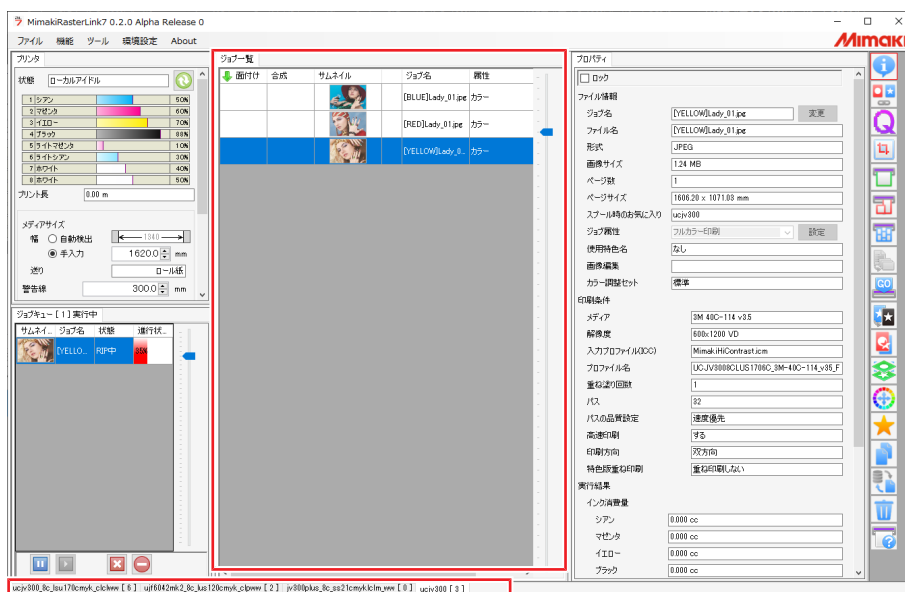
2 プリントする画像データを選択する。

- (1) [ファイル] > [開く]を選択する。
- (2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。
 - 複数のプリンターが登録されている場合、“プリンタ名”からJV100-160を選択します。




3 読み込まれた画像データを選択する。


- “プリンタ名”で選択した、JV100-160のタブに表示されます。



4 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。


 (通常印刷) : 拡大/縮小、コピーなどを設定します。

 (印刷条件) : 本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>
-

5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから  (実行) をクリックします。"RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を選択して、[開始]をクリックします。



- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。

(1) メインウィンドウで、JV100-160のタブを選択する。

(2) プリンタタブの  (最新のプリンタステータスを表示) をクリックする。

2.10 プリントする

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞ 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 49)
- メディアをセットしていますか? ☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? ☞ 「ロールメディアをセットする」 (P. 53)

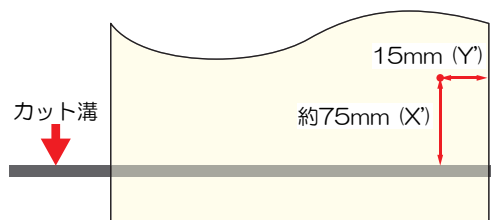


- 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起これば、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 60)
またプラテンヒーターの温度を35°C以下に設定して、環境温度は動作可能環境温度（20°C~30°C）にしてください。☞ 「設置上のご注意」 (P. 13)

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
 - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
 - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



- 1 ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。

プリントを開始する

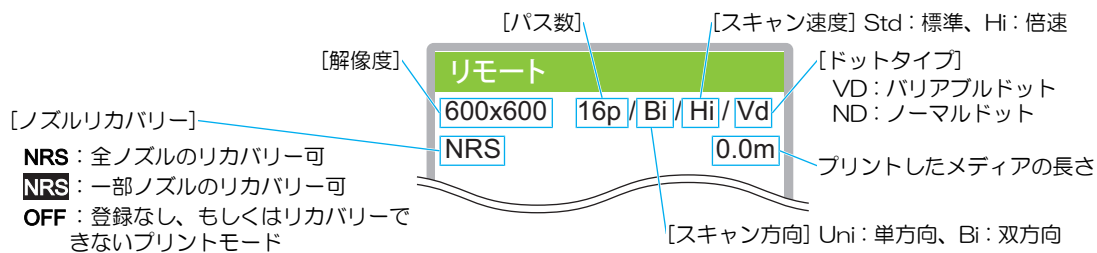
- 1 コンピューターから、RIPデータを送信する。
 - ☞ 「RIPデータを準備する」 (P. 65)



- メッセージ"Attention20A ドライバーバージョン"が表示されたときは、最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>

2 プリントを開始する。

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

プリントを一時停止する

1 プリント中に、[LOCAL]を押す。

- プリントが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 [REMOTE]を押す。

- プリントが再開されます。



- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。

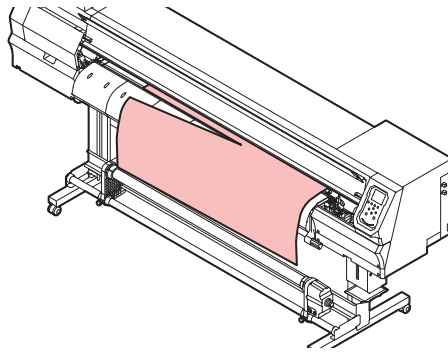


2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。

- 受信バッファがクリアされます。

2.11 メディアを裁断する

- 1 ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。
- 3 [CUT]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メディアが裁断されます。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

第3章 各種設定



この章では...
[MENU]の各種機能について説明しています。

設定メニュー.....	72	マシン設定メニュー.....	80
設定タイプ名称の変更方法.....	74	600mlインクカートリッジの登録と補正....	83
メンテナンスメニュー.....	76	イベントメール機能の設定.....	85
ノズルリカバリーを登録する.....	77	ノズルチェックメニュー.....	88
		情報メニュー.....	89

3.1 設定メニュー

お使いになるメディアに合わせて、プリント条件（設定1～4）を個別に登録しておくことができます。

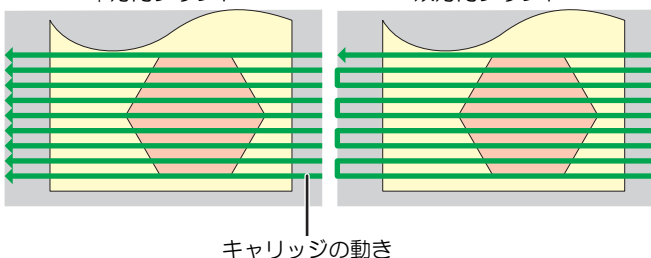
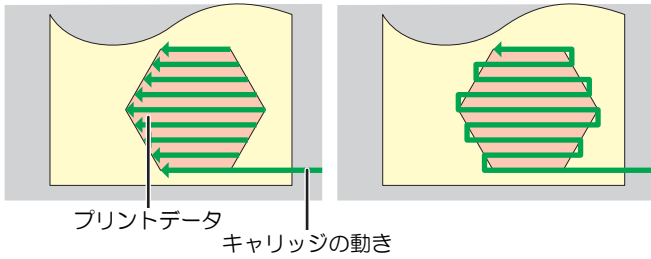
● メニュー一覧

本機の設定と接続しているコンピューターの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピューターの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
フィード補正	-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> • パターンをプリントして、補正量を入力します。☞ 「フィード補正をする」 (P. 61)
ドット位置補正	-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 63)
(解像度)	全て / 360std / 720std / 720hi / 1200std / 1200hi	-	補正したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。
(補正值)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	パターンを確認して補正值を入力します。
自動補正	-	-	補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します（自動補正機能）。 <ul style="list-style-type: none"> • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙や布系メディアは、検出できないおそれがあります。 • パターンをプリント中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。 [MENU] > [設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
フィード補正	-	-	
ドット位置補正	-	-	
(解像度)	全て / 360std / 720std / 720hi / 1200std / 1200hi	-	補正したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。
(補正值)	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	パターンを確認して補正值を入力します。
ヒーター	-	-	ヒーターの温度を設定します。
PRE	<u>OFF</u> / 20 ~ 60°C	OFF	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します
PRINT	<u>OFF</u> / 20 ~ 50°C		インクのにじみを抑制します。
POST	<u>OFF</u> / 20 ~ 60°C		プリントしたインクを乾燥させます。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
OFF時間	なし / 0 ~ 90 分	-	プリントしたあとヒーターを切るまでの時間を設定します。
ロジカルシーク	ホスト / OFF / ON	OFF	<p>キャリッジの可動範囲を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> OFF：マシンサイズ領域  ON：プリントデータ領域 
乾燥時間	-	-	インクを乾燥させる時間を設定します。
スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	0	<p>キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、「スキャン毎の乾燥時間」と表示しています。
プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	0	<p>プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、プリントエンドの指定ができません。本機を「ホスト」に設定すると、時間は「0分」になります。
マージン / 左 マージン / 右	ホスト / -10 ~ 85 mm	0mm	<p>メディア左右の標準余白 (15mm) からオフセットする値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、マージンの指定ができません。本機を「ホスト」に設定すると、左右のマージンはオフセット値が「0mm」になります。
吸着ファン	ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	<p>メディアを吸着する強さを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。
フィード速度	ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	<p>メディアの送り速度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
オートクリーニング	-	-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、自動でヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
設定	ファイル / 距離 / 時間 / OFF	-	自動でヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
間隔	-	-	自動でヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。
(ファイル)	1 ~ 1000	-	ファイル数を選択したときの間隔を設定します。
(距離)	0.1 ~ 100.0 m	-	プリント長さを選択したときの間隔を設定します。
(時間)	10 ~ <u>60</u> ~ 240 min	-	プリント時間を選択したときの間隔を設定します。
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	-	ヘッドクリーニングのタイプを設定します。
クリーニング後チェック	ON / OFF	-	自動でヘッドクリーニングが終了したあとに、ノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
外部ヒーター	ON / OFF	-	オプションの外部ヒーターを使用するときに設定します。詳しくは、「小型リレーBOX取扱説明書」をご覧ください。
MAPS4	-	-	MAPS : Mimaki Advanced Pass System <ul style="list-style-type: none"> パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。
MAPS4	<u>AUTO</u> / MANUAL	-	通常は"AUTO"で使用してください。"MANUAL"に設定すると、以下の項目が表示されます。
スムージングレベル	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。
速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
拡張	ON / OFF	-	"ON"に設定すると、縞が目立ちにくくなります。ただし、粒状感が増すおそれがあります。
設定リセット	-	-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用ソフトウェア（ホスト）から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

設定タイプ名称の変更方法

設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ 設定タイプが表示されます。

2 設定1~4を選択して、[FUNC2]キーを押す。

- ・ 名称変更画面が表示されます。


- 3 お好きな名称を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 設定タイプの名称が変更されます。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリ機能を設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
ステーションメンテ	-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
キャリッジアウト	-	
プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。 ☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 94) ☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 96) ☞ 「NCUの清掃」 (P. 97)
メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 97) ☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 100) ☞ 「自動補正センサー (DAS) の清掃」 (P. 98)
ノズル洗浄	1 ~99 min	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良 (ノズル詰まり、飛行曲がりなど) を復旧します。 ☞ 「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 122)
ポンプチューブ洗浄	-	吸引ポンプチューブ (キャップ下) を洗浄します。 ☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 99)
保管洗浄	1 ~99 min	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。 ☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 102)
ワイパー交換	-	ワイパーの交換をするときを使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。 ☞ 「ワイパーの交換」 (P. 105)
ノズルリカバリ	-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良 (ノズル詰まり、飛行曲がりなど) が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 77)
登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
リセット	-	設定した内容を初期化します。
チェック	-	登録されたノズルがノズルリカバリできるかどうかをチェックします。☞ 「ノズルリカバリーができるかどうかをチェックする」 (P. 78)
テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
オートメンテナンス	-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 ・ワーニングメッセージ"廃インクタンク交換"が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 114)
リフレッシュ	0.5 ~ 4.0 h	リフレッシュをする間隔を設定します。

項目	設定値 ^{*1}	内容
		<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出します。ノズル詰まりを防止する効果があります。
クリーニング間隔	1 ~ <u>12</u> h	ヘッドクリーニングをする間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> プリントヘッドをクリーニングします。ノズル詰まりを防止する効果があります。
クリーニングタイプ	ノーマル/ <u>ソフト</u> /ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
廃インクタンク	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。  「 廃インクタンクの交換 」(P. 114)
インク充填	-	インクを充填して、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)を解消します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

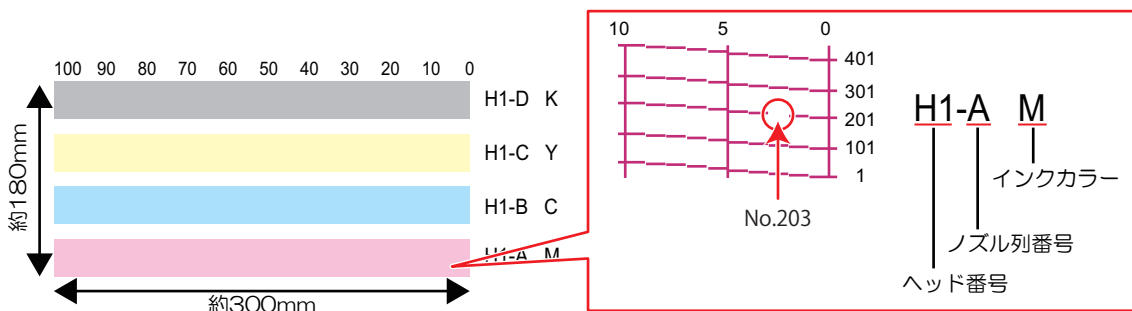


- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

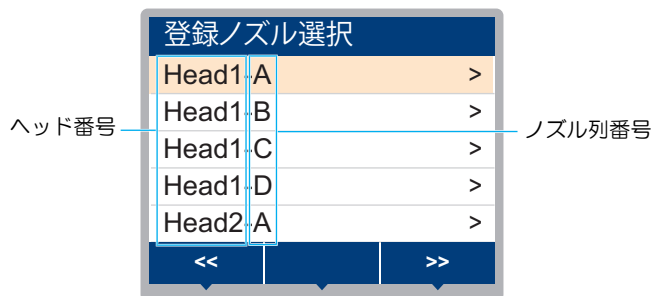


- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

- メディアをセットする。
- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ノズルリカバリーしたいヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
- “プリント開始”を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ノズルリカバリーパターンをプリントします。
 - プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

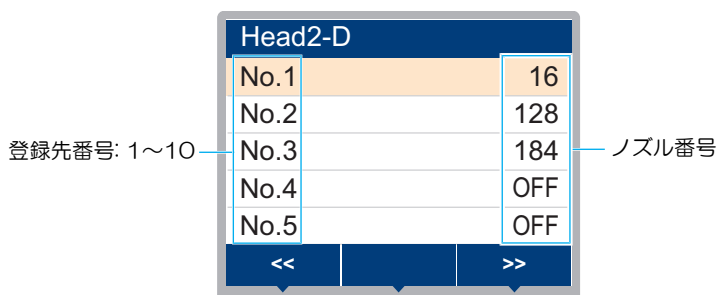


6 ノズルリカバリーをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。



7 ノズルリカバリーをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。



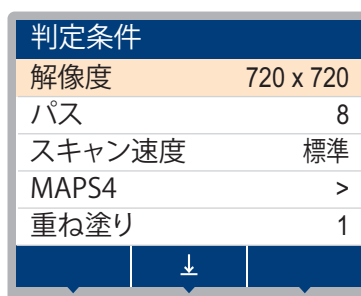
8 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。



- [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。☞ 「テストプリントをする」 (P. 58)

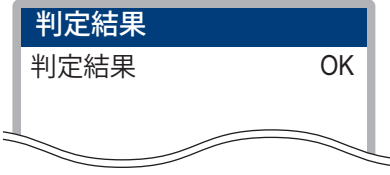
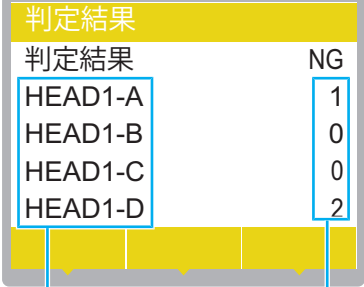
ノズルリカバリーができるかどうかをチェックする

- 1 メディアをセットする。
- 2 ローカルモードから[MENU]>[メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ノズルリカバリ]>[チェック]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 判定条件画面が表示されます。
- 4 お使いになるプリント条件を入力する。



5 [FUNC2]キーを押す。

- 判定結果が表示されます。

OK	No good										
 <p>判定結果 判定結果 OK</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定結果</th> <th>NG</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HEAD1-A</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HEAD1-B</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>HEAD1-C</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>HEAD1-D</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>ヘッド番号-ノズル列 リカバリーできないノズル数</p>	判定結果	NG	HEAD1-A	1	HEAD1-B	0	HEAD1-C	0	HEAD1-D	2
判定結果	NG										
HEAD1-A	1										
HEAD1-B	0										
HEAD1-C	0										
HEAD1-D	2										

6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

3.3 マシン設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
オートパワーオフ	しない / 5 ~ 15 ~ 600min	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
設定	ON / OFF	電源を入れるかどうかを設定します。
時刻	0:00 ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
曜日	-	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
ノズルチェック	ON / OFF	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	0 ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
巻取ユニット	-	巻き取りユニットの動作を設定できます。
巻取ユニット	ON / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
巻取スイッチ	継続 / 一時	ローカルモードで、巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 継続：ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。 一時：ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転します。スイッチを放すと、回転が止まります。
乾燥/排気ファン	-	オプションの乾燥/排気ファンを使用するときに設定します。詳しくは、"乾燥ファンユニット取扱説明書"をご覧ください。
延長時間	OFF / 10 ~ 120min	プリントしたあとの乾燥/排気ファンが動作する時間を設定します。設定した時間を超えるとファンが停止します。
ON / OFF	ON / OFF	プリントしていないときに乾燥/排気ファンを動作させたいときは、ONに設定してください。
トップブロフ	ON / OFF	プリント中の吹き付けファンの動作を設定します。
強さ	AUTO / 弱 / 標準	吹き付けファンの風力を設定します。
メディア残量	ON / OFF	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。"原点設定"画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 OFF：メディア残量は表示されません。
メディア検出	-	メディア幅の検出方法を設定します。
検出方法	AUTO / MANUAL	<ul style="list-style-type: none"> AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 MANUAL：◀ ▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。

項目	設定値 ^{*1}	内容
		- AUTOで検出できないメディアを使用する場合、"MANUAL"に設定してください。
起動時検出	ON / OFF	本機起動時にクランプレバーが下がっているとき、自動でメディアを検出します。自動で検出したくない場合は、OFFにしてください。
検出速度	高速 / 標準	<ul style="list-style-type: none"> • 高速：透明、反射メディアを検出する場合など、メディアの検出に失敗するおそれがあります。検出に失敗した場合は"標準"で設定してください。 • 標準：メディアの検出に失敗したりする場合は、"標準"に設定してください。
LANGUAGE	English / 日本語 / 中文	表示言語を設定します。
時刻設定	-20h ~ 0 ~ +4h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） <ul style="list-style-type: none"> • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
単位 / 温度	°C / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
単位 / 長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • "inch"に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
600ccカートリッジ	-	インク供給ユニットに600mlインクカートリッジを使っているときに表示されます。
ケース重量	-	インクICチップと取り付けた600mlインクカートリッジケースの重量を登録します。☞「新しいインクカートリッジケースに交換する」(P. 83)
カートリッジ重量	-	インクパックをセットした600mlインクカートリッジの重量を登録します。☞「インクカートリッジの重量を補正する」(P. 84)
キーブザー	ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • "OFF"に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
確認フィード	ON / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
ページ間余白	無し / 10~500mm	連続プリントのとき、プリント間の余白を削減することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 余白の長さを短くすると、メディアにたるみが生じて、メディアの送り量が変わってしまうおそれがあります。 • フィード方向のデータサイズやパス数によって、設定した値より余白が広がる場合があります。
余白フィード方式	間欠 / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作する。 • 連続：データがない部分を一度にフィードする。
ネットワーク	-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、"0.0.0.0"と表示されます。
MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
DHCP	ON / OFF	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。

項目	設定値 ^{*1}	内容
AutoIP	ON / OFF	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが"ON"の場合は、DHCPが優先されます。
IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
デフォルトゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
サブネットマスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
イベントメール	-	イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信させることができます。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。☞ 「イベントメール機能の設定」 (P. 85)
メール送信	ON / OFF	イベントメールを送信するかどうかを設定します。
送信イベント選択	-	
プリント開始	ON / OFF	プリント開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
プリント終了	ON / OFF	プリント終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
プロット開始	ON / OFF	カット開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
プロット終了	ON / OFF	カット終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
エラー	ON / OFF	エラー発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
ワーニング	ON / OFF	ワーニング発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
その他	ON / OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
メールアドレス	-	送信先メールアドレス（英数字、記号、96文字以内）を設定します。
件名	-	件名に記載する文字（英数字、記号、8文字以内）を設定します。
サーバー設定	-	
SMTPアドレス	-	SMTPサーバーを設定します。
SMTPポートNo.	-	SMTPのポート番号を設定します。
送信元メールアドレス	-	送信元メールアドレス（英数字、記号、64文字以内）を設定します。 • サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定すると、メールを送信させることができます。
認証方式	OFF / POP before SMTP / SMTP 認証	SMTP サーバーの認証方式を設定します。

項目	設定値 ^{*1}	内容
ユーザー名	-	認証に使用するユーザー名を設定します（英数字、記号、30文字以内）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
パスワード	-	認証に使用するパスワードを設定します（英数字、記号、15文字以内）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
POP3アドレス	-	POPサーバーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができます。
APOP	-	APOPのON / OFFを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができます。
テストメール送信	-	テストメールを送信します。☞ 「テストメール送信」 (P. 85)
自動リモート	ON / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。
カット前フィード	ON / OFF	メディアカット前のメディアフィードをするかどうかを設定します。
リセット	-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

600mlインクカートリッジの登録と補正

● 必要なもの

名称	概要
600mlインクカートリッジケース	600mlインクパックとインクパックに付属されているインクICチップを600mlインクカートリッジケースにセットして使用します。
600mlインクパック	
インクICチップ	
はかり	インク残量を計算するために、600mlインクカートリッジの重量を登録します。1g単位まで計量できるものを準備してください。

新しいインクカートリッジケースに交換する

ケースの重量を登録します。




- ・ 新しいインクカートリッジケースに交換しない場合は、再登録はしないでください。

1 600mlインクカートリッジケースの重さを量る。



- ・ この時点で、インクパックやインクICチップをセットしないでください。

- 2 600mlインクカートリッジケースにインクパックとインクICチップをセットする。
 -  「インクを交換する」 (P. 40)
- 3 インク供給ユニットに600mlインクカートリッジをセットする。
- 4 ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- 5 [600ccカートリッジ] > [ケース重量]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 6 対象のインクスロットを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 選択したスロットが反転表示されます。
- 7 計量した600mlインクカートリッジケースの重さを入力して、[ENTER]キーを押す。



- “ERROR614 保存失敗”が表示されたときは、以下を確認してください。
 - (1) 600mlインクカートリッジが、奥まで挿し込まれているかどうかを確認する。
 - (2) インクICチップが、正しく取り付けられているかどうかを確認する。

インクカートリッジの重量を補正する

600mlインクカートリッジのインク残量が規定値になると、ディスプレイに[インクレベルロー]、[インクニアエンド]、[インクレベルエンド]、[インクエンド]が表示されます。実際の重量と異なることがありますので、600mlインクカートリッジの重量補正をしてください。



- 実際の重量でない値の登録を繰り返すと、インクICチップが使用できなくなりますのでご注意ください。
- ワーニングが表示されているときは、連続してプリントすることはできません。
- “インクパック交換”が表示されたときは、新しいインクパックに交換してください。

- 1 ディスプレイにワーニングが表示される。
- 2 表示されたインクスロットの600mlインクカートリッジを抜いて、重さを量る。



- インクパックをセットしたまま量ってください。

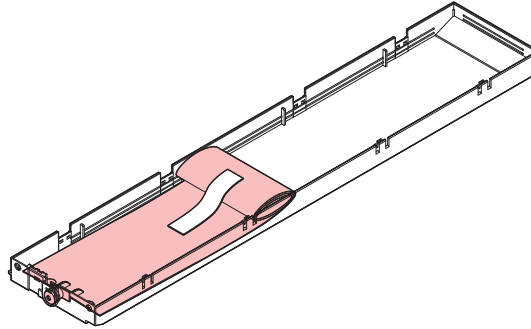
- 3 インク供給ユニットに600mlインクカートリッジをセットする。
 - カートリッジ重量画面が表示されます。
- 4 計量した600mlインクカートリッジの重さを入力して、[ENTER]キーを押す。
 - インクパックのインク残量を算出して、インクICチップに保存されます。
 - 以下の方法でも600mlインクカートリッジの重量を登録することができます。
 - (1) ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
 - (2) [600ccカートリッジ] > [カートリッジ重量]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - (3) 対象のインクスロットを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 選択したスロットが反転表示されます。
 - (4) 計量した600mlインクカートリッジの重さを入力して、[ENTER]キーを押す。



- “ERROR614 保存失敗”が表示されたときは、以下を確認してください。
 - (1) 600mlインクカートリッジが、奥まで挿し込まれているかどうかを確認する。
 - (2) インクICチップが、正しく取り付けられているかどうかを確認する。

5 インクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げる。

- 重要!** • Ink cartridge check (カートリッジチェック) が表示されたら、必ずインクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。インクパックを折り曲げないままプリントを続けると、インクが吐出されなくなるおそれがあります。



イベントメール機能の設定

イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信することができます。



- SSL (Secure Socket Layer) 暗号化通信には対応していません。



- イベントメール機能を使用するには、LANケーブルを接続してください。
🔗 [「LANケーブルを使う」](#) (P. 33)

免責事項

- メール通知、その他インターネットの通信費用は、お客様負担となります。
- インターネット環境や機器の不具合などの要因により、イベントメールが届かないことがあります。不達や遅延などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

テストメール送信

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - マシン設定メニューが表示されます。
- 2 [イベントメール] > [テストメール送信]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 送信結果が表示されます。
 - テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。エラーコード一覧表を参照して、対処してください。

テストメール 送信
失敗 : 1 2 3 4 5

エラーコード



- 送信が完了してもメールが届かないことがあります。メールを受信する端末側で、迷惑メールフィルターなど設定していないかどうかを確認してください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者、またはプロバイダーにご相談ください。

4 テストが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

● エラーコード一覧

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワークの接続エラーです。	<ul style="list-style-type: none"> 本機がネットワークに接続されているかどうかを確認してください。 本機のIPアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> POPサーバーのアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
11021	POPサーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> POPサーバーの設定を確認してください。 ファイアウォールの設定を確認してください。
12010	POPサーバーからエラーが返答されました。	<ul style="list-style-type: none"> POPサーバーの設定を確認してください。
13000	POP認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名とパスワードを確認してください。 APOPの設定を確認してください。 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> SMTPサーバーのアドレスを確認してください。 本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
10021	SMTPサーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> SMTPサーバーの設定を確認してください。 SMTPポート番号を確認してください。 ファイアウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTPサーバーからエラーが返答されました。もしくは応答がありません。	<ul style="list-style-type: none"> SMTPサーバーの設定を確認してください。 SSL通信が必須のサーバーとは通信できません。 プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです。	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
13***	メールの宛先が見つかりません。もしくは無効なメールアドレスです。	<ul style="list-style-type: none"> メールアドレスを確認してください。 メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
22000 22008	SMTP認証エラー。	<ul style="list-style-type: none"> 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名とパスワードを確認してください。

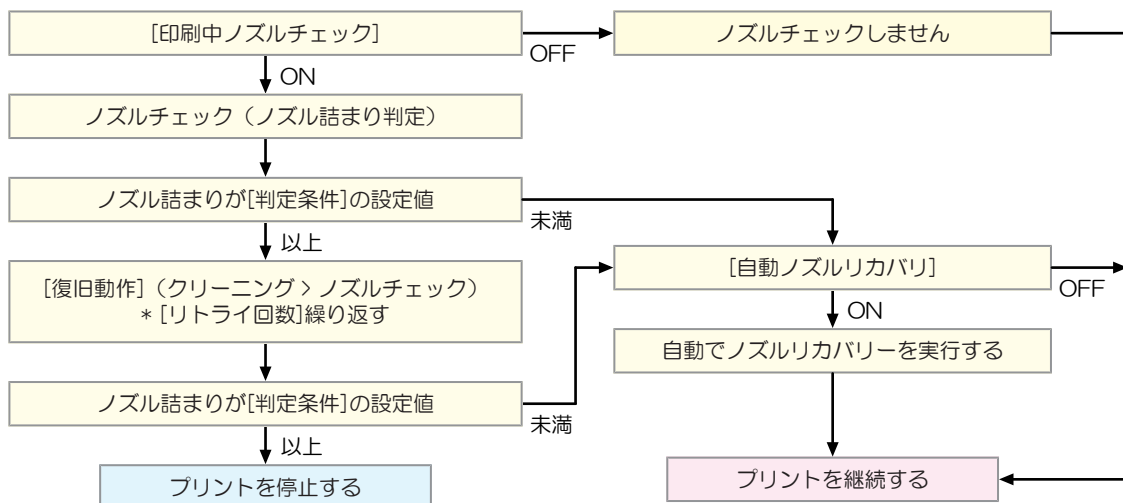
1. ***はメールサーバーから返答されたエラーコード



- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してください。
-

3.4 ノズルチェックメニュー

プリント前にノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
印刷中チェック	ON / OFF	プリント開始前に自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ <u>30.0</u> ~ 100.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ <u>30</u> ~ 1,000ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
復旧動作	-	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作 (クリーニング>ノズルチェック) を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	<u>0</u> ~ 3回	指定回数分、復旧動作 (クリーニング>ノズルチェック) を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 77)
判定条件 ^{*2}	OFF / 1 ~ <u>10</u> ~ 100ノズル	"ノズル詰まり"と判定するノズル数をノズル列ごとに設定します。連続プリント中に"ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリントは開始されません。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. ノズルリカバリーが適用されないプリント条件があります。



- ノズルチェックを実行中にエラーが発生した場合、次のプリントを自動で停止して、[印刷中チェック]が"OFF"に変更されます。エラーを解消したら、[印刷中チェック]を手動で"ON"に設定してください。

3.5 情報メニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピングした回数が表示されます。 ・ 表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 ・ 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長が表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
バージョン	本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。	
エラー履歴	エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・ 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。	
リスト	本機の情報をプリントすることができます。	

第4章 メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....	92	消耗品の交換.....	105
メンテナンスの方法.....	93	ワイパーの交換.....	105
メンテナンス項目とタイミング.....	93	ワイパークリーナーの交換.....	106
インクのメンテナンス.....	94	キャップの交換.....	107
ワイパーの清掃.....	94	キャップ吸収材の交換.....	108
キャップゴムの清掃.....	96	吹き付けファンフィルターの交換.....	110
NCUの清掃.....	97	ピンチローラーの交換.....	110
キャリッジ底面の清掃.....	97	メディア押さえの交換.....	111
自動補正センサー（DAS）の清掃.....	98	メディア裁断カッターの交換.....	113
インク排出経路の洗浄.....	99	廃インクタンクの交換.....	114
メディアセンサーの清掃.....	100		
メディア押さえの清掃.....	101		
プラテンの清掃.....	101		
カバー（外装）の清掃.....	102		
長期間使用しないときは.....	102		

4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクカートリッジを振ってください。☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 94)
1週間の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 94)
	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 96)
	NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 97)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 97)
	DASセンサーを清掃してください。☞ 「自動補正センサー (DAS) の清掃」 (P. 98)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 99)
	メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 100)
	メディア押さえを清掃してください。☞ 「メディア押さえの清掃」 (P. 101)
	プラテンを清掃してください。☞ 「プラテンの清掃」 (P. 101)
	カバー (外装) を清掃してください。☞ 「カバー (外装) の清掃」 (P. 102)
1週間以上使わないとき	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」 (P. 115)
	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 102)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクカートリッジを振っていただくことをお勧めします。

ソルベントインク：1か月に1回程度。

オレンジインク：1週間に1回程度。

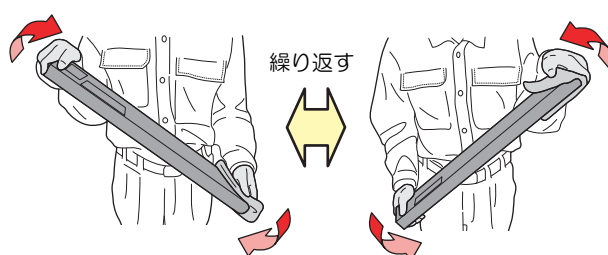
● オレンジインクについて

24時間ごと、ディスプレイに”オレンジインクカートリッジを振ってください”と表示されます。メッセージが表示されたら、オレンジインクカートリッジを振ってください。

● インクカートリッジを振る

1 インクカートリッジを20回以上ゆっくりと左右に振る。

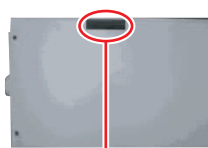
- ・ インクを流すように左右に振ってください。



- ・ 使いかけのインクカートリッジの場合は、インクカートリッジの挿し込み口と側面の隙間を紙タオルなどで押さえて、インクカートリッジが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。



針の差し口



側面の隙間

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

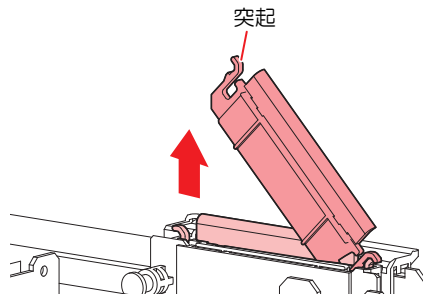
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

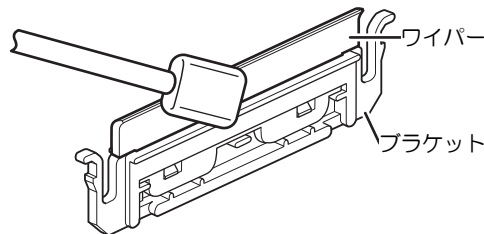
4 ワイパーを外す。

- ・ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

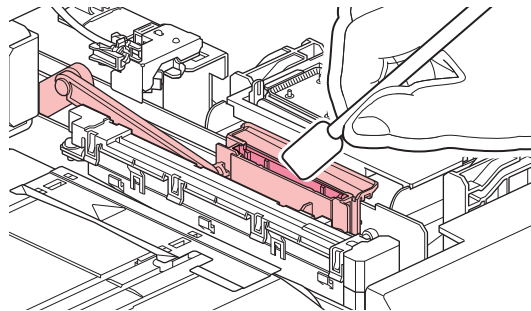
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



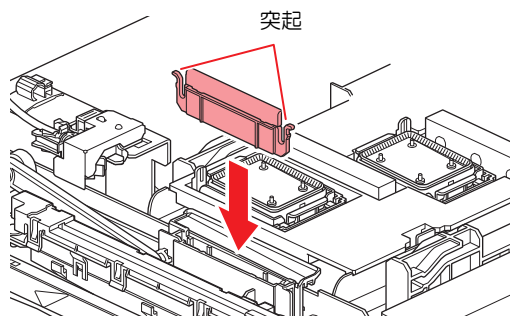
- ・ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。☞ 「ワイパーの交換」 (P. 105)

6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。





- ・ 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

8 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

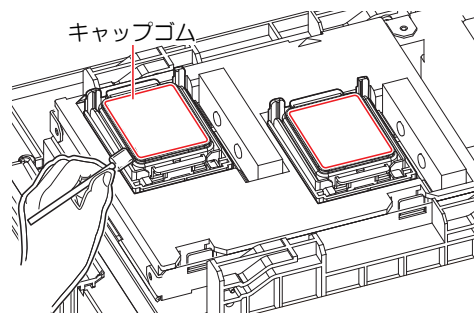
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

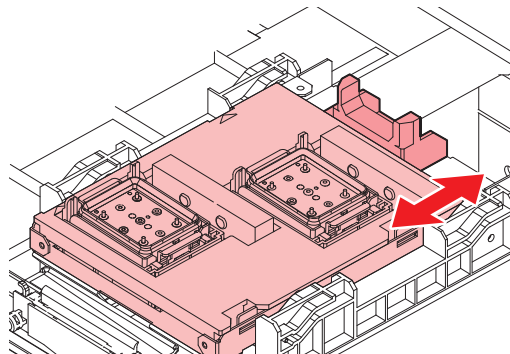
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったら、キャップスライダの傾きを確認する。



- ・ キャップスライダーが傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かして、傾きを直してください。



6 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

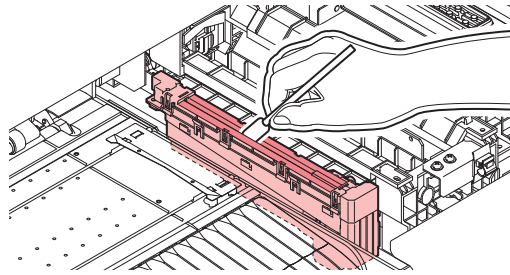
NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

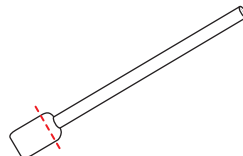


- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 NCUを清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

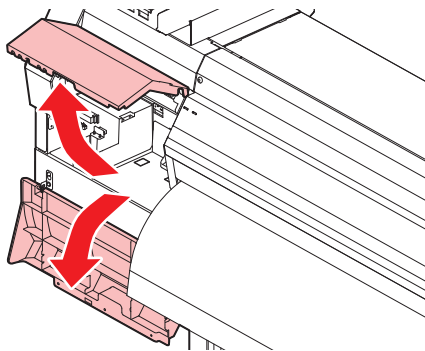
また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



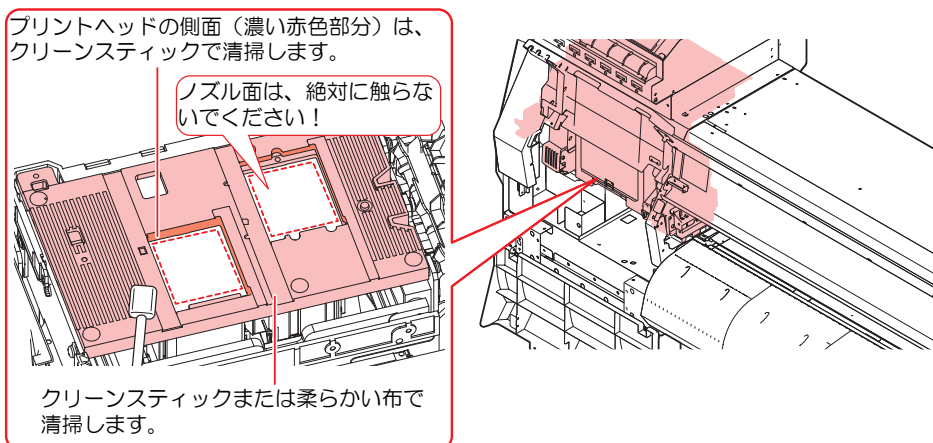
- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 プリントヘッド周辺を清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

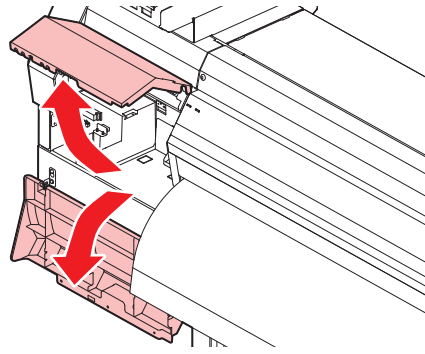
- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

自動補正センサー（DAS）の清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、自動補正機能（ドットの着弾位置を自動で補正）が実行できないおそれがあります。

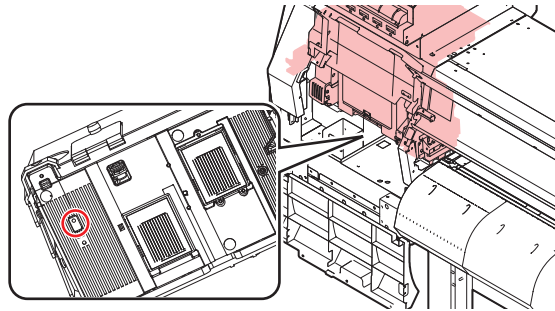
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 DASセンサーを清掃する。

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャップにメンテナンス液が満たされます。



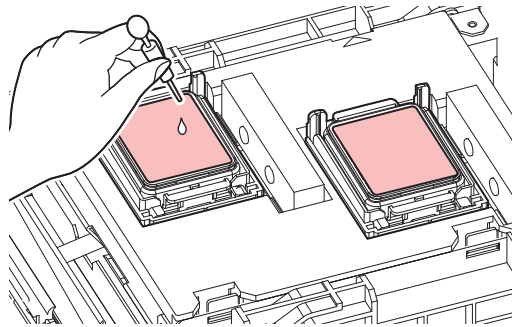
- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

3 正面カバーを開く。

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

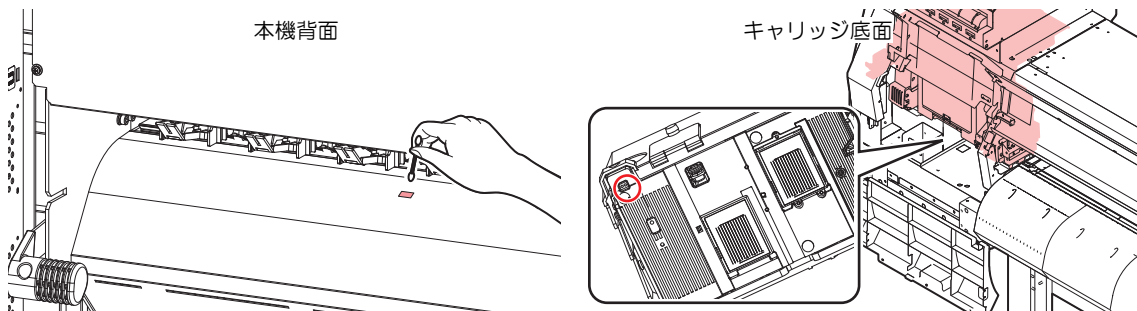


4 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

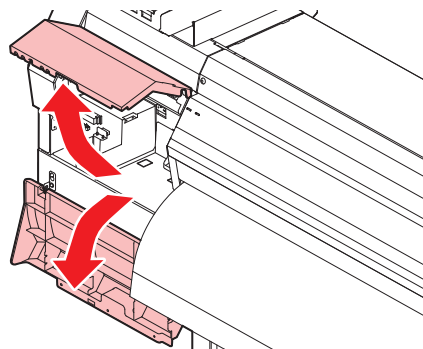
メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



4 メディアセンサーを清掃する。

5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの清掃

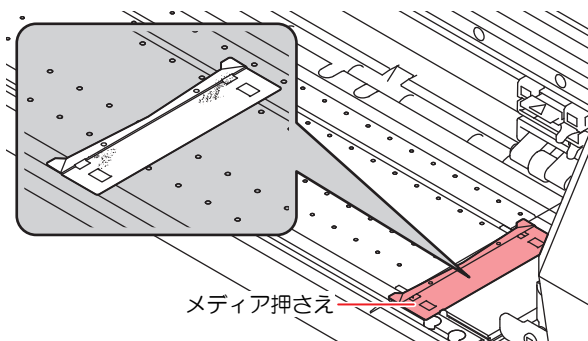


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

プラテンの清掃

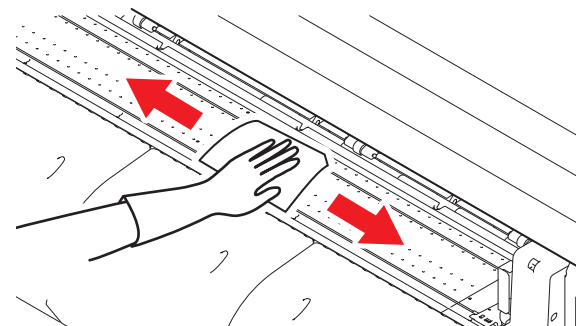


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。

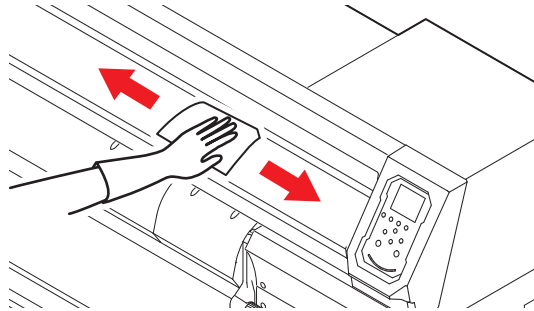


- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 ワイパーとブラケットを清掃する。
 - 「ワイパーの清掃」 (P. 94)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに「キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]」と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
 - 「キャップゴムの清掃」 (P. 96)
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - キャップにメンテナンス液が満たされます。



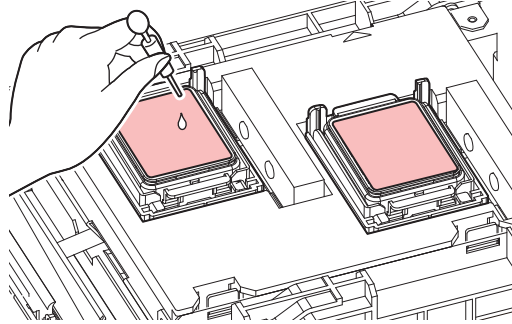
- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

8 正面カバーを開く。

- キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**9** 正面カバーを閉じる。**10** 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。



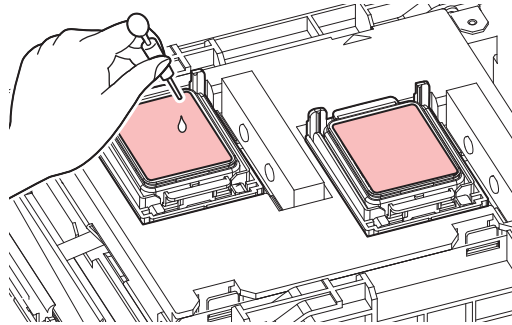
- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

11 正面カバーを開く。

- キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



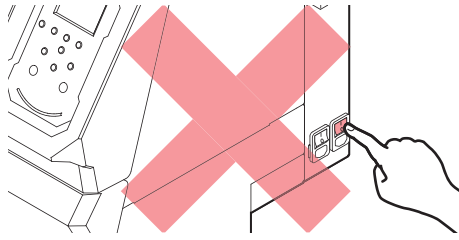
- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**12** 正面カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。
☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 114)

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

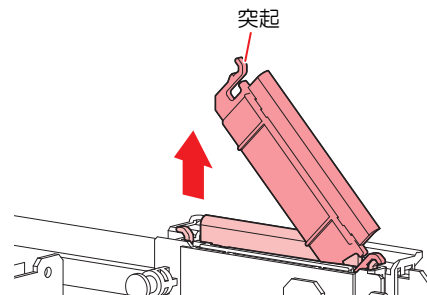


- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

ワイパーの交換

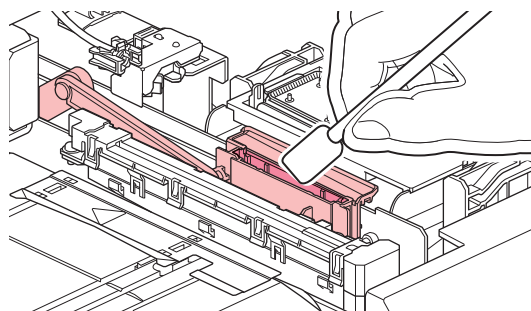
本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- 1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

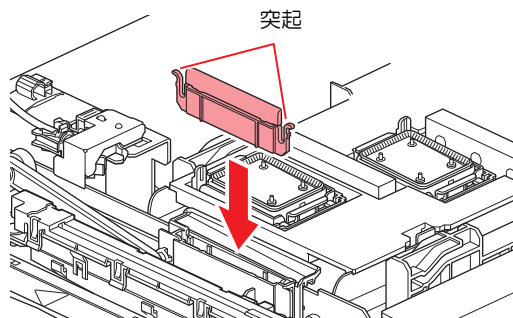


- 6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの使用回数が初期化されます。

ワイパークリーナーの交換

1年に一度、新しいワイパークリーナーに交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

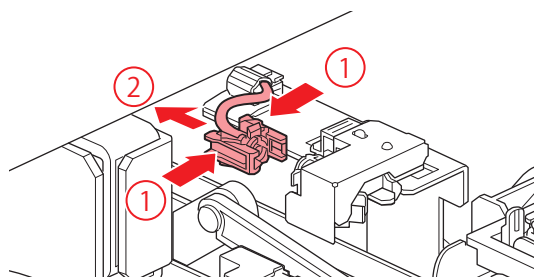
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

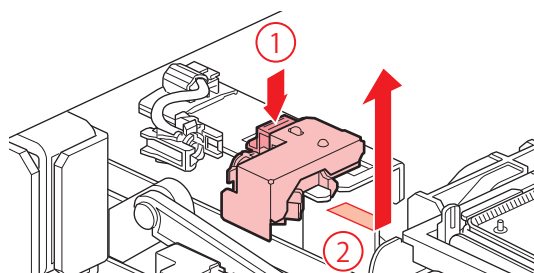
4 フィッティングを外す。

- フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- シールゴムの紛失に注意してください。



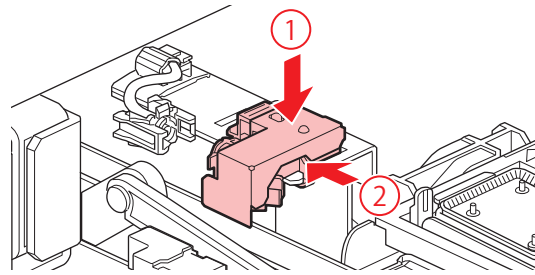
5 ワイパークリーナーを外す。

- 手前に引いて外します。



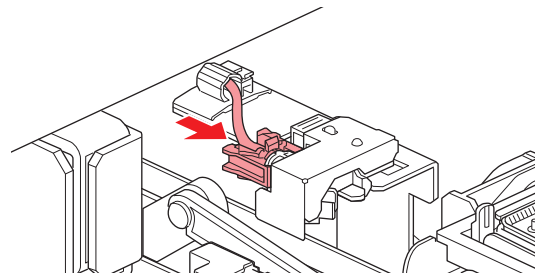
6 新しいワイパクリーナーをセットする。

- ・ 奥にスライドさせて取り付けます。



7 フィッティングを付ける。

- ・ 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

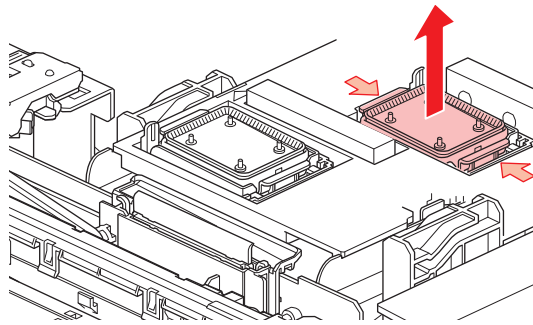
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

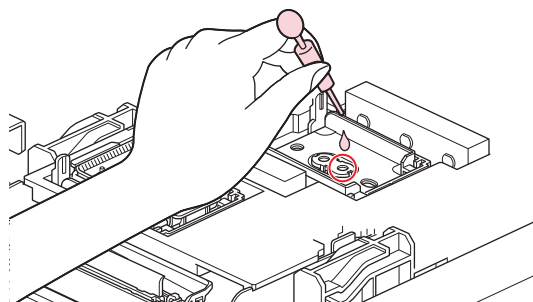
4 キャップを外す。

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



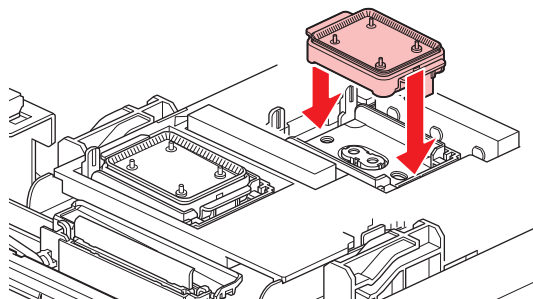
5 メンテナンス液を塗布する。

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



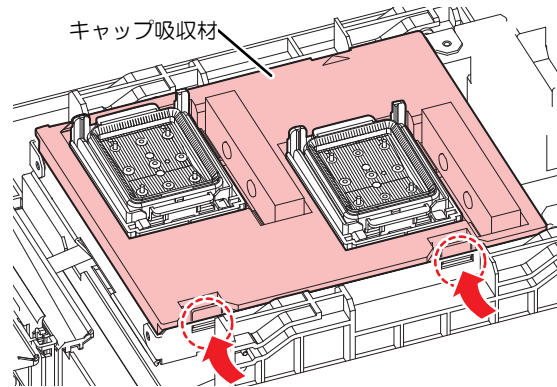
7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップ吸収材の交換

キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

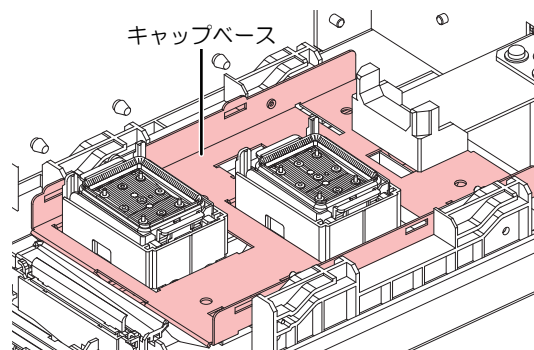
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。

- 3 主電源を切る。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 キャップ吸収材を外す。
 - ・ 手前のツメを押し上げて外します。



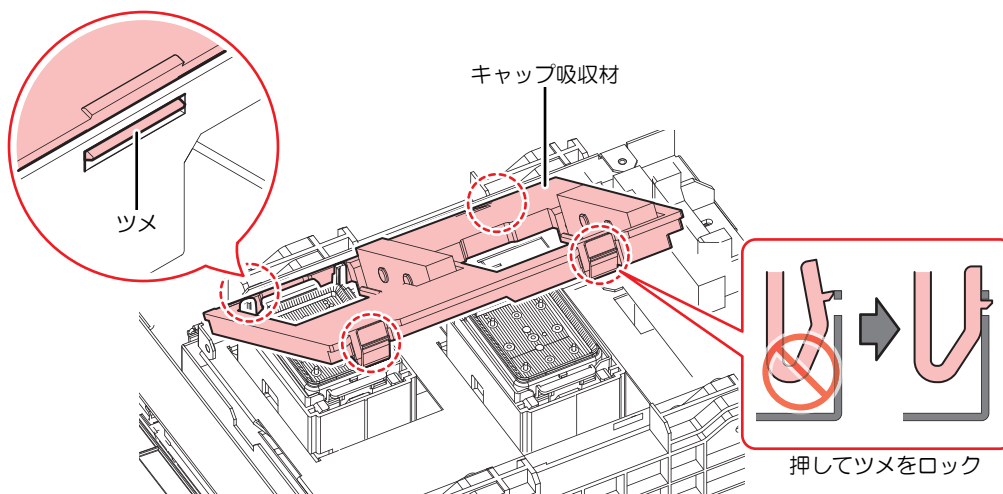
・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

- 6 キャリッジベースを清掃する。



- 7 新しいキャップ吸収材をセットする。

- ・ Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



- 8 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

9 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

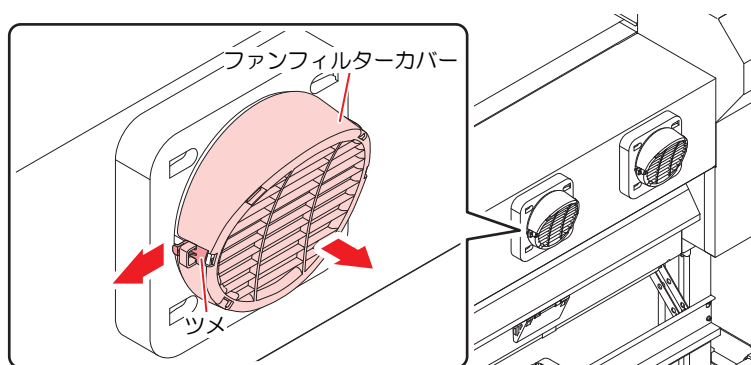
- ・ キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

吹き付けファンフィルターの交換

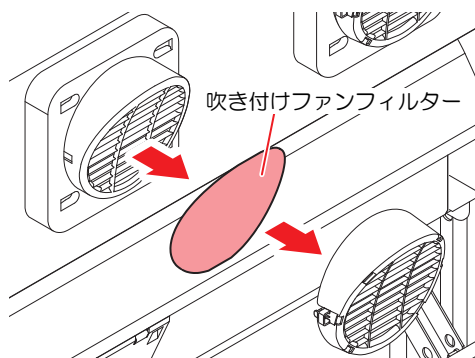
吹き付けファンフィルターが汚れたときは交換してください。

1 ファンフィルターカバーを外す。

- ・ ファンフィルターカバーのツメを外側に押し、カバーを手前に引っぱります。

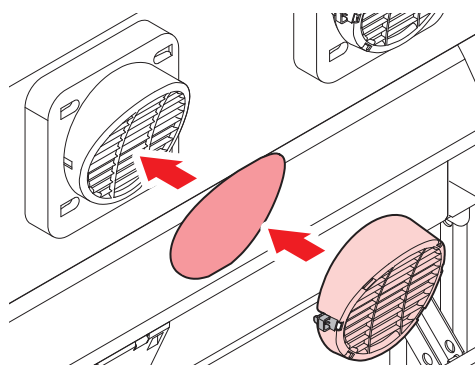


2 フィルターを外す。



3 新しいフィルターとファンフィルターカバーをセットする。

- ・ ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。



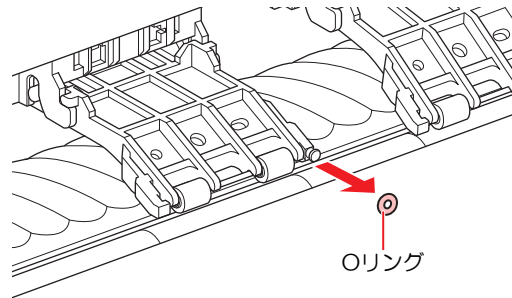
ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。



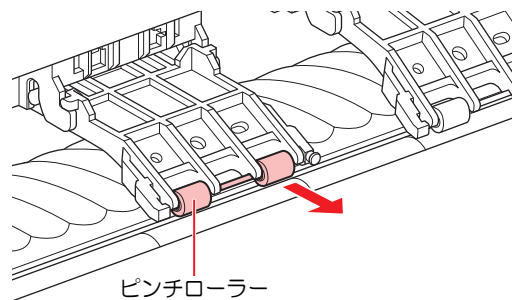
・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

- 4 ピンチローラを外す。



- 5 新しいピンチローラをセットして、Oリングで固定する。
- 6 正面カバーを閉める。

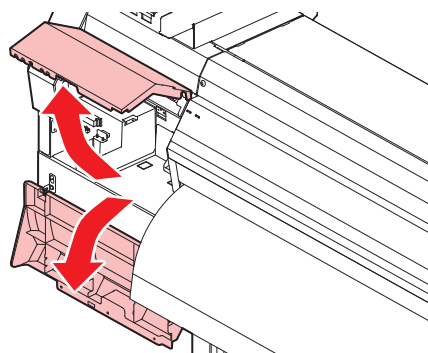
メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。

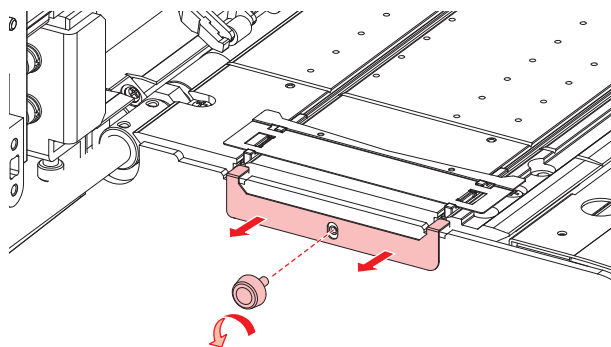


・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

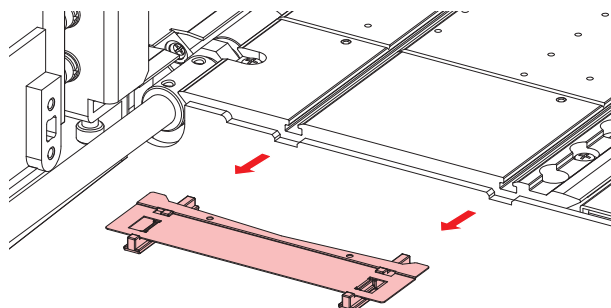
1 メンテナンスカバーを開く。



2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

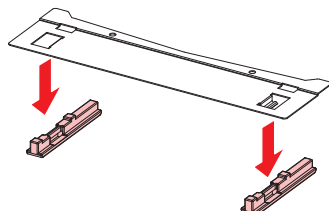


3 メディア押さえを外す。



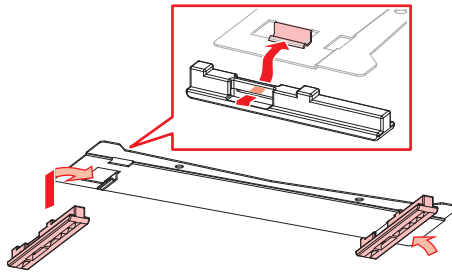
4 メディア押さえから、スライダーを外す。

- 外したスライダーは紛失しないように注意してください。

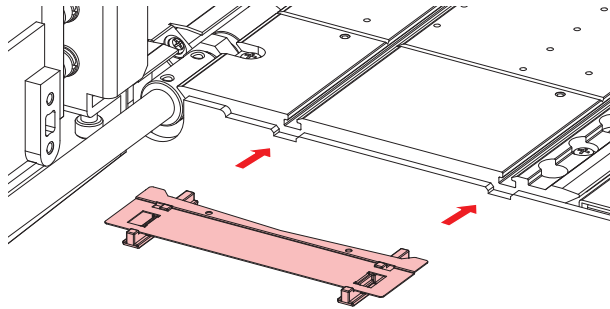


5 新しいメディア押さえに、スライダをセットする。

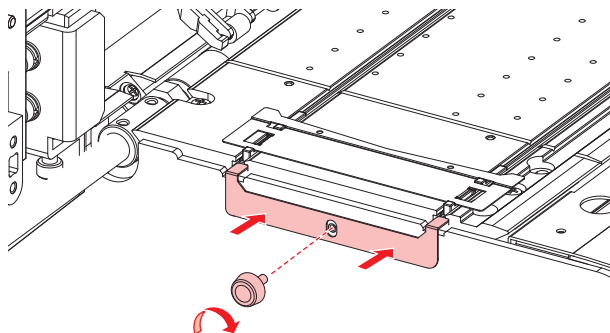
- メディア押さえの突起にスライダの穴を引っ掛けます。



6 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



8 メンテナンスカバーを閉める。

メディア裁断カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。



- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

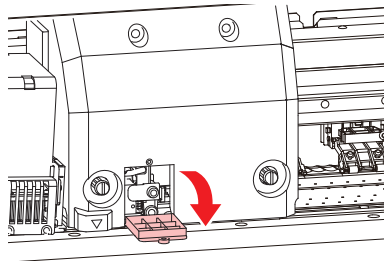
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。



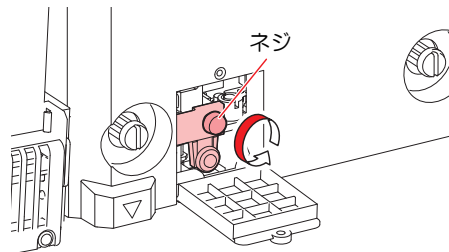
- ・ キャリッジを手動で移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてください。

4 ネジを緩めて、キャリッジカバーの窓を開く。

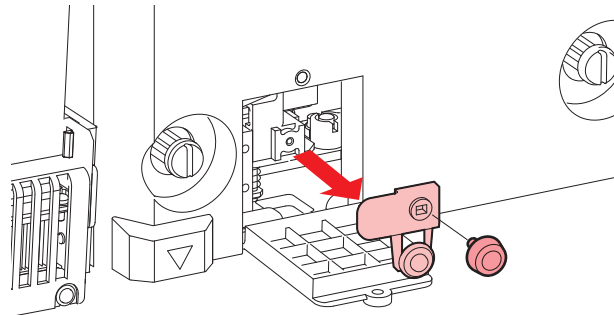


5 メディア裁断カッターを交換する。

- (1) カッターのネジを緩める。



- (2) カッターを外す。



- (3) 新しいカッターをセットする。
- (4) ネジを締めて固定する。

6 キャリッジカバーの窓を閉めて、ネジを締める。

7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。






- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。

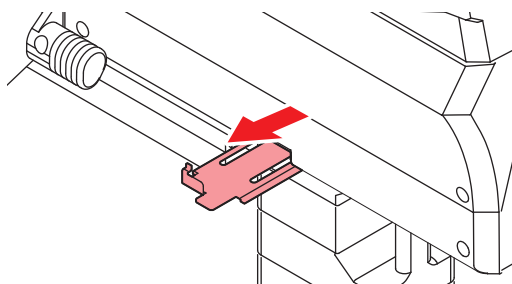
メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
 - 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
 - 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、 「[廃インクタンクを交換する](#)」（P. 115）を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 6   を押して、レベルを調整する。
- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

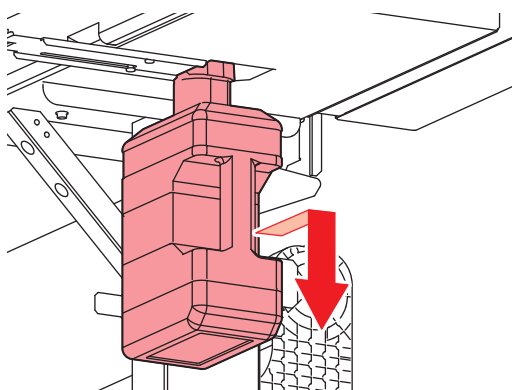
廃インクタンクを交換する

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

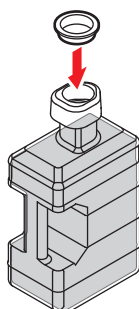
4 廃インクタンクのストッパーを手前に引く。



5 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

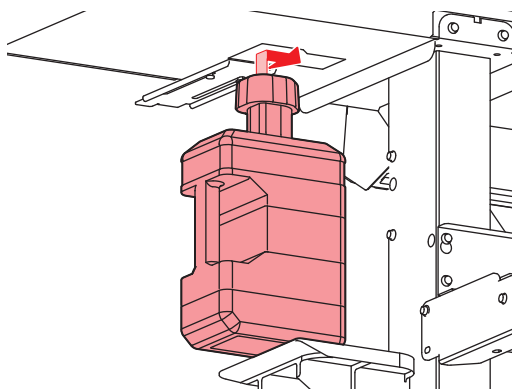


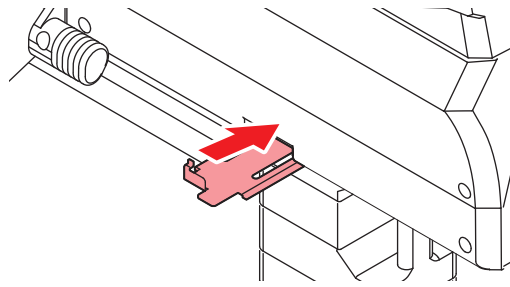
6 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

7 新しい廃インクタンクをセットする



8 廃インクタンクのストッパーを閉じる。**9** [ENTER]キーを押す。

- 廃インク排出量が初期化されます。

第5章 困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....	120	インクが漏れた.....	123
電源が入らない.....	120	メッセージを表示するトラブル.....	124
プリントできない.....	120	ワーニングメッセージ.....	124
メディア詰まり、メディアが汚れる.....	120	インクエラー.....	126
画質不良が発生した.....	121	エラーメッセージ.....	127
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない	123	SYSTEM HALT.....	132

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/support/>) にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか?	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 30)
付属の電源ケーブルを使用していますか?	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか?	主電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 30)
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか?	電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 30)

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェースケーブルが、接続されていますか?	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 33)
LANケーブルが、接続されていますか?	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 33)
弊社指定のLANケーブルを使用していますか?	LANケーブルの種類を確認してください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 33)
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか?	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞ 「操作パネル」 (P. 26)

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
推奨のメディアを使用していますか?	推奨のメディアを使用してください。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していますか?	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか?	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)

確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか？	<p>ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLO[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。</p>  <p>吸着穴をふさがないように貼り付けてください。</p> <p>詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html</p>

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する (キャリッジスキャン方向)	<ol style="list-style-type: none"> 1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえの清掃」(P. 101) ☞「プラテンの清掃」(P. 101) 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 60)を実施してください。 3. ☞「フィード補正をする」(P. 61)を実施してください。 4. ☞「ワイパーの清掃」(P. 94)を実施してください。 5. ☞「キャップゴムの清掃」(P. 96)を実施してください。 6. ☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 97)を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ☞「フィード補正をする」(P. 61)を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ☞「ドット位置補正をする」(P. 63)を実施してください。
プリント中にインク滴が落ちる	<ol style="list-style-type: none"> 1. ☞「ワイパーの清掃」(P. 94)を実施してください。 2. ☞「キャップゴムの清掃」(P. 96)を実施してください。 3. ☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 97)を実施してください。 4. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 60)を実施してください。 5. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」(P. 76)
ノズル詰まりを解消したい	<ol style="list-style-type: none"> 1. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 60)を実施してください。 2. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」(P. 122)を実施してください。 3. ☞「ワイパーの交換」(P. 105)を実施してください。 4. ☞「ノズルリカバリーを登録する」(P. 77)を実施してください。

現象	対処方法
縦方向の色ムラが発生する	<p>付属されているNITOFロン[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。</p>  <p>吸着穴をふさがないように貼り付けてください。</p> <p>詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html</p>

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 60））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 ワイパーとブラケットを清掃する。
 - ・ ☞「ワイパーの清掃」（P. 94）
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに「キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]」と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
 - ・ ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。

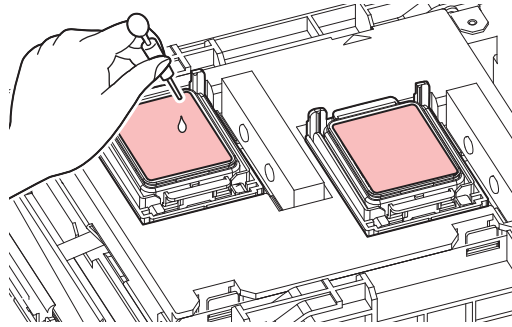


- ・ 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

- 8 正面カバーを開く。
 - ・ キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



9 正面カバーを閉じる。

10 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ヒーターの温度が規定値まで上昇しない

設定方法に問題があると考えられます。

確認すること	対処方法
100V/200V切り替えスイッチは合っていますか？	お使いの電源に合わせて切り替えスイッチを変更してください。
ヒーターの温度設定は有効ですか？	ヒーターの温度を設定してください。 「ヒーターの温度を設定する」 (P. 57) 「設定メニュー」 (P. 72)

インクが漏れた



- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイドンスでも確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイドンス）」（P. 29）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

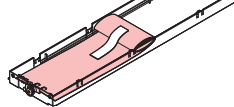
メッセージ	原因	対処方法
MOTOR POWER OFF	<ul style="list-style-type: none"> カバーを開けたあとなど初期化動作によってモーターが停止している。 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化動作が終了するまでお待ちください。
NCU インク吸収材交換	<ul style="list-style-type: none"> インク吸収材の交換時期になった。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	<ul style="list-style-type: none"> ノズル詰まり判定に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	<ul style="list-style-type: none"> センサー感度が低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」（P. 97）
NCU 感度調整エラー H	<ul style="list-style-type: none"> センサー感度調整に失敗した。 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	<ul style="list-style-type: none"> NCUの接続に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクエラーあり	<ul style="list-style-type: none"> インクエラーが発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> インクエラーの内容を確認してください。☞ 「インクエラー」（P. 126）
カバーオープン	<ul style="list-style-type: none"> カバーが開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> カバーを閉めてください。
クランプレバー下げてください	<ul style="list-style-type: none"> クランプレバーが上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> クランプレバーを下げてください。☞ 「正面」（P. 20）
ヒーター温度異常 電源をオフしました	<ul style="list-style-type: none"> "ERROR710 ヒーター温度異常"が発生した直後、本機を再起動したときに表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
プリントデータあり	<ul style="list-style-type: none"> プリント（RIP）データを受信している。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	<ul style="list-style-type: none"> プリントを一時停止している。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/カートリッジ	<ul style="list-style-type: none"> 使用できないインクICチップが使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクカートリッジに交換してください。
メディアがありません	<ul style="list-style-type: none"> メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」（P. 51）

メッセージ	原因	対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 100)
メディアをセットしてください	<ul style="list-style-type: none"> メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)
メディア未検出	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅を検出していない。 	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅を検出してください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)
ワイパー交換	<ul style="list-style-type: none"> ワイピングのカウント値が規定量を超えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーを交換して、カウント値を初期化してください。☞ 「ワイパーの交換」 (P. 105)
ワイパー動作不良	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーが正常に動作しない。 	<ol style="list-style-type: none"> “ワイパー”と“ワイパー周辺”を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 94) 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
廃インクタンク交換	<ul style="list-style-type: none"> 廃インクタンクのカウントが規定量 (90%) を超えた。 	<p>オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 115) 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」 (P. 115)
廃インクタンク確認	<ul style="list-style-type: none"> 廃インクタンクのカウントが規定量 (80%) を超えた。 	<ol style="list-style-type: none"> 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 115) 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」 (P. 115)
洗浄液カートリッジなし	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液カートリッジがセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液カートリッジを交換してください	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液がなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
洗浄液エンド	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液がなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
環境温度が高い ** °C	<ul style="list-style-type: none"> 室内の温度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞ 「設置上のご注意」 (P. 13)
環境温度が低い ** °C	<ul style="list-style-type: none"> 室内の温度が低い。 	
自動補正に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> 白いメディアを使っていない。 メディアが汚れている。 メディアが浮いている。 センサー周辺が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 白くて汚れのないメディアを使用してください。 メディアが浮かないようにセットしてください。 センサー周辺を清掃してください。☞ 「自動補正センサー (DAS) の清掃」 (P. 98) 失敗を繰り返す場合は、手動で補正してください。[MENU] > [設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
**日メンテナンスを行っていません	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間メンテナンスしていない 	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスしてください。☞ 「メンテナンス項目とタイミング」 (P. 93)

メッセージ	原因	対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> - [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]機能を使ってメンテナンスしたあとに、メッセージが非表示になります。
大きな環境温度変化を検知したためクリーニングを実施しました ノズル状態を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> • 10℃以上の温度変化を検知した。 	<ul style="list-style-type: none"> • テストプリントを実施してノズル状態を確認してください。☞「テストプリントをする」(P. 58)

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	<ul style="list-style-type: none"> • インクがなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいインクに交換してください。☞「インクパック交換（インクエンド）が表示されたとき」(P. 39) • UISSの場合、クリーニングをすることができます。
インクニアエンド	<ul style="list-style-type: none"> • インク残量が残りがずかになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき」(P. 38)
カートリッジなし	<ul style="list-style-type: none"> • インク供給ユニットにインクカートリッジが挿入されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. インクカートリッジにインクICチップが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」(P. 40) 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクIC異常	<ul style="list-style-type: none"> • インクICチップの情報にエラーが発生した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 3. 新しいインクカートリッジに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40)
インクカラー	<ul style="list-style-type: none"> • 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しいインクカラーのインクカートリッジをセットしてください。☞「インクを交換する」(P. 40)
インク残量0	<ul style="list-style-type: none"> • インクの残量が0mlになった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40)
インク種類	<ul style="list-style-type: none"> • 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しいインクタイプのインクカートリッジをセットしてください。☞「インクを交換する」(P. 40)
期限切れ	<ul style="list-style-type: none"> • インクが期限切れになった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクを交換する」(P. 40)
期限切れ（1か月）	<ul style="list-style-type: none"> • インクが期限切れから、1か月经過した。 	

メッセージ	原因	対処方法
期限切れ (2か月)	<ul style="list-style-type: none"> インクが期限切れから、2か月経過した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞ 「インクを交換する」 (P. 40)
Ink cartridge check *FW ver.4.2以降	<ul style="list-style-type: none"> 600mlカートリッジのインク残量が250ml未満になったとき。 	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84) 測定した重さを本機に入力します。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84) インクカートリッジのフタを外して、インクパック折り曲げてください。
インクレベル エンド (1回目) *FW ver.4.2以降	<ul style="list-style-type: none"> Ink cartridge checkが表示されてから、130mlインクを消費した。 <ul style="list-style-type: none"> Ink cartridge checkが表示されてから、インクパックの折り曲げとカートリッジの重量補正 (☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)) を実施した場合は表示されません。 	 <p>図のようにインクパックをセットしてカートリッジ重量を入力してください</p>
インクレベル ロー	<ul style="list-style-type: none"> 600mlカートリッジのインクの残量が60ml未満になった。 	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84) 測定した重さを本機に入力します。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)
インクニアエンド	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジの重量補正 (☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)) したあとのインクの残量が60ml未満になった。 	<ol style="list-style-type: none"> 測定した重さを本機に入力します。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)
インクレベル エンド	<ul style="list-style-type: none"> 600mlカートリッジのインクの残量が30ml未満になった。 	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84) 測定した重さを本機に入力します。☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)
インクパック交換 (インクエンド)	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジの重量補正 (☞ 「インクカートリッジの重量を補正する」 (P. 84)) したあとのインクの残量が30ml未満になった。 	<ol style="list-style-type: none"> インクパックを交換してください。☞ 「インクを交換する」 (P. 40)
カートリッジ異常	<ul style="list-style-type: none"> インクの使用量が規定値を超えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。☞ 「インクを交換する」 (P. 40) ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	<ul style="list-style-type: none"> メイン基板に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
108	HD THERMIS [1234]	<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッド温度制御に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
108	HD CONNECT [1234]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
122	CHECK:SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
128	HDC FIFO OVER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
129	バッテリー交換	• 内臓時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
130	HD DATA SEQ		
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
151	Main PCB V1R2	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
157	Main PCB VTT		
158	Main PCB V36-2		
15f	HEAD DRIVE HOT	• COMドライブが高温になっている。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
16e	Main PCB V3R3B	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
171	NEW HEAD CONNECT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
18a	Main PCB V_CORE	• メイン基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18b	Main PCB V1R5B		
18c	Main PCB V12		
18e	FLS NOT COMP	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18f	OFSET START		
18f	OFSET END		
1e6	PRAM サイズ不足	• メモリーサイズが不足している。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
201	コマンドエラー	• プリント (RIP) データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. USBケーブルの接続を確認してください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 33)
202	パラメータエラー	• 受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。	3. 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞ 「USB接続についての注意事項」 (P. 33) 4. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
206	プリントモードエラー	<ul style="list-style-type: none"> プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。 	<ul style="list-style-type: none"> RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20A	ドライバーバージョン	<ul style="list-style-type: none"> Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
304	USB INIT ERR	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルの接続に異常を検出した。 	<ol style="list-style-type: none"> USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 33） 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 33） 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
305	USB TIME OUT		
307	MCFDファイルIFエラー	<ul style="list-style-type: none"> プリント条件データへのアクセス中に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
401	モーターアラーム X	<ul style="list-style-type: none"> Xモーターに過大な負荷がかかった。 	<ol style="list-style-type: none"> メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」（P. 51） 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
402	モーターアラーム Y	<ul style="list-style-type: none"> Yモーターに過大な負荷がかかった。 	
403	X オーバー カレント	<ul style="list-style-type: none"> Xモーターの過電流エラーを検出した。 	
404	Y オーバー カレント	<ul style="list-style-type: none"> Yモーターの過電流エラーを検出した。 	
406	ワイパー動作不良	<ul style="list-style-type: none"> ワイパー原点が検出できなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 94） 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
44f	巻取ロール センサ異常	<ul style="list-style-type: none"> 巻き取りユニットのセンサー軸に異常を検出した。 	<ol style="list-style-type: none"> [マシン設定] > [線出/巻取ユニット] > [巻取ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。 メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」（P. 53） 巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞「巻き取りユニットについて」（P. 51）
48a	巻取不良検出	<ul style="list-style-type: none"> 巻き取りユニットが巻き取りできない。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」（P. 53）
504	CLAMP UP	<ul style="list-style-type: none"> クラムプレバーを上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> クラムプレバーを下げてください。
505	メディアジャム	<ul style="list-style-type: none"> メディアジャムセンサーが反応した。 	<ol style="list-style-type: none"> 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞「メディアをセットする」（P. 51）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	<ul style="list-style-type: none"> 位置制御に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
50a	Y原点検出	<ul style="list-style-type: none"> Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。 	
50c	メディア幅センサー確認	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅の検出に異常を検出した。 	<ol style="list-style-type: none"> メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 51) メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 100)
50f	L-SCALE BLACK	<ul style="list-style-type: none"> リニアスケールに異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
516	メディア位置 右過ぎます	<ul style="list-style-type: none"> メディアが範囲外にセットされている。 	<ol style="list-style-type: none"> メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 51) メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 100)
528	ポンプモーター センサ	<ul style="list-style-type: none"> ポンプセンサー検出に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
549	LEnc. Count DIO	<ul style="list-style-type: none"> DIO基板へのリニアスケール配線に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
602	インクエンド	<ul style="list-style-type: none"> インクがなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40)
608	インク IC異常	<ul style="list-style-type: none"> インクICチップの情報にエラーが発生した。 	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 新しいインクカートリッジに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40)
627	カートリッジ セット	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間インクICチップが読めない。 	<ol style="list-style-type: none"> インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
628	カートリッジ異常	<ul style="list-style-type: none"> インクの使用量が規定値を超えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40) ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
63c	インク残量0	<ul style="list-style-type: none"> インクの残量が0mlになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 40)
64C	NCUエラー	<ul style="list-style-type: none"> 何らかのエラーにより機能が実行できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
650	NCU接続異常	<ul style="list-style-type: none"> NCUの接続に異常を検出した。 	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
651	NCU交換	<ul style="list-style-type: none"> ノズル詰まり判定に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU 検出エラー (HW)	<ul style="list-style-type: none"> ノズル詰まり判定に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 97)
653	NCU 検出エラー (マーク)		
654	NCU センター位置検出エラー		
655	NCU 吐出位置検出エラー		
656	NCU SN調整エラー	<ul style="list-style-type: none"> センサー感度調整に失敗した。 	
657	NCU インク吸収材交換	<ul style="list-style-type: none"> NCUのインク吸収材が満杯になった。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU センサー感度低下	<ul style="list-style-type: none"> センサー感度が低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 97) エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
65b	NCU感度調整エラー H	<ul style="list-style-type: none"> センサー感度調整に失敗した。 	
65c	NCU感度調整エラー L		
702	サーミスタ接続	<ul style="list-style-type: none"> サーミスタの接続に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
710	ヒーター温度異常	<ul style="list-style-type: none"> ヒーターの温度に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動で異常を解決するように制御しています。異常が解決されない場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
901	実行できません	<ul style="list-style-type: none"> 何らかのエラーにより機能が実行できない。 	<ul style="list-style-type: none"> エラーの内容を確認してください。
902	未作図 データ アリ	<ul style="list-style-type: none"> プリント (RIP) データを受信している。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90d	ヘッド 選択 ナシ	<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッドに異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
90f	プリント エリア不足	<ul style="list-style-type: none"> プリント領域が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b1b	BaseIO PCB Vpow-s	<ul style="list-style-type: none"> Base IO基板の電源に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b1c	BaseIO PCB V24		
b1d	BaseIO PCB V24-A		
b21	SLIDER1 PCB V3R3	<ul style="list-style-type: none"> スライダー基板の電源に異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
b22	SLIDER1 PCB V2R5		
b23	SLIDER1 PCB V1R8		
b24	SLIDER1 PCB V1R2		
d09	HD MEMORY [1234]	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド内臓メモリーに異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

SYSTEM HALT

エラー番号	メッセージ	対処方法
406	WIPER ORG	<ol style="list-style-type: none"> ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。🔧 「ワイパーの清掃」(P. 94) 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。



- その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第6章 付録



この章では...
本機の仕様など説明しています。

仕様	134	乾燥ファンユニット (OPT-J0351)	137
リレーBOXについて	136	LICENSE Library (EPL5 StarterWare)	138

6.1 仕様

項目		内容
プリントヘッド	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	ヘッド（420ノズルx4列）を2つ搭載（スタガ配列）
	解像度	Y：360dpi、720dpi、1,200dpi X：600dpi、900dpi、1,200dpi
インクセット	4-color	C, M, Y, K（全てUISS）
	8-color	C, M, Y, K, Lc, Lm, Lk, Or
メディア	種類	塩ビシート（ラミネート加工を含み、厚さ0.25mm以下）、ターポリン、FF
	最大プリント幅 ^{*1}	1,610mm
	最大幅	1,620mm
	最小幅	210mm
	厚さ	1.0mm以下
	ロール外径 ^{*2}	ø250mm以下（紙メディア）、ø210mm以下（その他）
	ロール重量 ^{*2, *3}	45kg以下
	紙管内径 ^{*4}	2インチ、または3インチ
	プリント面	外面、内面
	巻き終り処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	左右	15.0mm（デフォルト値）、最小値：左右 5mm
	前端	120mm
	後端	150mm
距離精度 ^{*5}	絶対精度	±0.3mm、または指定距離の±0.3%の大きい方
	再現性	±0.2mm、または指定距離の±0.1%の大きい方
直角度		±0.5mm/1,000mm
メディアスキュー		5mm以下/10m
プリントギャップ		手動2段階（2.0、2.5mm）
メディア裁断		裁断精度（段差）0.5mm以下
原点位置合わせ		LEDポインター式
インク供給		インクカートリッジ
メンテナンス液供給		カートリッジ
廃インクタンク		ボトル式（2,000ml）
巻き取りユニット		内巻き、外巻き 切り替え可能
メディアヒーター		PRE、PRINT、POST（独立制御）
NCU（ノズル詰まり検出）		搭載
UV装置		なし
インターフェイス	データ転送機能	USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1,000BASE-T
	メール機能	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T

項目		内容
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語
騒音	待機時	58dB以下（FAST-A、前後左右1m）
	連続動作時	65dB以下
	不連続動作時	75dB以下
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、EACマーク、RCMマーク
電源仕様 ^{*6}		単相AC100-120V±10%/12A、単相AC200-240V±10%/8A、50/60±1Hz x2
消費電力	最大 ^{*7}	[Inlet1] 1,000W以下（AC100-120V）、1,300W以下（AC200-240V） [Inlet2] 1,000W以下（AC100-120V）、1,300W以下（AC200-240V）
	最小 ^{*8}	[Inlet1] 4.5W以下 [Inlet2] ----
設置環境 ^{*9}	使用可能温度	20 - 30°C
	相対湿度	35 - 65%Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25°C
	温度勾配	±10°C/h 以下
	粉塵	0.15mg/m ³ （オフィス相当）
	動作最高高度	2,000m
外形寸法 ^{*10}	幅	2,775mm（2,980mm）
	奥行き	700mm（750mm）
	高さ	1,392mm（1,050mm）
重量 ^{*10}		166kg（208kg）

*1. 設定メニューのマーシンを左右を最小値（5mm）に設定

*2. メディア巻き取り後の外径および重量

*3. 重量によるたわみがない範囲

*4. 高速プリント時は3インチのみ

*5. メディアの伸縮、セット初期蛇行は除く

*6. オプション類除く

*7. プリントモードによって異なる

*8. スリープ時

*9. 範囲外の環境ではインク吐出安定性が低下する

*10. () 内は、梱包時のサイズ

6.2 リレーBOXについて



- 他社製品の外付け乾燥ヒーターを使用すると、火災につながるおそれがあります。必ずオプション設定されている小型リレーBOX、もしくはリレーBOX2を介して本機に接続するようにしてください。



- JV100-160は、リレーBOX（OPT-J0370 / OPT-J0407）のいずれか1つだけ接続することができます。



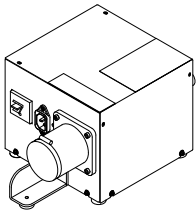
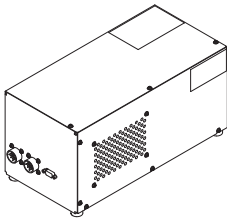
- リレーBOXを使用するには、オプションの接続中継ケーブル（OPT-J0512 乾燥FAN接続キット）が必要です。

● 概要

リレーBOXは、本機の動作と連動して、ヒーター電源（ON/OFF）を自動で切り替えます。

- プリントが停止するとヒーター電源を切って、無動作状態時の加熱を防ぎます。
- リレーBOXは、外付け乾燥ヒーターの温度制御の機能は付いていません。外付け乾燥ヒーター側で、温度を設定してください。

● 仕様

小型リレーBOX（OPT-J0370） 	電源仕様	単相AC100-120V/12A、単相 AC200-240V/8A、50/60 Hz、1系統 コンセント給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター
リレーBOX2（OPT-J0407） 	電源仕様	単相AC100-240V / 30A、50/60 Hz、1系統 配電盤給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター

6.3 乾燥ファンユニット（OPT-J0351）



- 乾燥ファンユニットを使用するには、オプションの接続中継ケーブル（OPT-J0512 乾燥FAN接続キット）が必要です。

● 概要

乾燥ファンユニットは、本機の動作と連動して、乾燥ファン動作（ON/OFF）を自動で切り替えます。

- 風量を調節することができます。
- 乾燥ファンユニットに、別売りの排気ファンユニット（OPT-J0353）を接続することができます。

● 仕様

電源仕様	設置環境	
	使用可能温度	相対湿度
単相AC100V-240V/1.4A、 50/60Hz	20 - 30°C	35 - 65%Rh（結露なきこと）



- 詳しくは、乾燥ファンユニットオプションに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

6.4 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

数字	
600ccカートリッジ	81
A	
ACインレット.....	21
D	
DAS	72, 93, 98
E	
[END/POWER]キー	25, 26, 31
[ENTER]キー	26
F	
[FUNCTION]キー	26, 28
J	
[JOG]キー	26
L	
LANGUAGE	81
LANケーブル	33
LANポート.....	21
M	
MAPS	74
Mimakiドライバー	36
N	
NCU.....	22, 93, 97
R	
RasterLink	36, 37, 65, 66, 73
S	
[SEL]キー	26
SYSTEM HALT	26
U	
USBインターフェイスケーブル.....	33
USBポート	21

V

VCCI.....	5
-----------	---

い

イベントメール.....	82, 85
インクIC チップ.....	83
インクエラー.....	27
インクエンド.....	39, 84
インクカートリッジケース.....	81, 83
インク供給ユニット.....	20, 23
インク残量.....	27
インク充填.....	77
インク状態確認ランプ.....	23
インクニアエンド.....	84
インクの状態.....	27
インク排出経路.....	93, 99
インクパック.....	83
インクレベルエンド.....	84
インクレベルロー.....	84
印刷中チェック.....	88
インストールガイド.....	36, 37
インターロック.....	15
インレット.....	30

え

エラー履歴.....	89
エラー.....	26, 124

お

オートクリーニング.....	74
オートパワーオフ.....	80
オートパワーオン.....	80
オートメンテナンス.....	76

か

カートリッジ重量.....	81
確認フィード.....	81
カット前フィード.....	83
カット溝.....	23
カラプロファイル.....	36
乾燥/排気ファン.....	80
乾燥時間.....	73

き

キーブザー	81
キャッピングステーション	20, 22
キャップ吸収材	108
キャップ	93, 96, 107
キャリッジアウト	76
キャリッジの移動	26
キャリッジ	20, 22, 93, 97
キャンセル	26
吸着ファン	73

く

クランプレバー	20, 21
クリーニング後チェック	74
繰り出しユニット	21
グリットローラー	20, 22

け

警告ラベル	16
ケース重量	81

こ

コンセント	30
-------------	----

し

時刻設定	81
自動ノズルリカバリー	88
自動補正	72, 98, 125
自動リモート	83
受信障害	5
受信バッファ	68
主電源スイッチ	21, 24, 30
使用時間	89
使用状況	89
情報メニュー	89
シンボルマーク	6

す

スイッチングハブ	34
ステーションメンテ	76
ステータスランプ	26
スムージングレベル	74

せ

接続中継ケーブル.....	136, 137
設置スペース.....	14
設定メニュー.....	72
センサー感度.....	124, 131
メンテナンス液カートリッジ.....	21

そ

操作パネル.....	20, 26
------------	--------

た

高さ調整レバー.....	49
単位 / 温度.....	81
単位 / 長さ.....	81

て

ディスプレイ.....	26, 27
テストプリント.....	26, 58
電源ケーブル.....	30
電源プラグ.....	30
電波障害自主規制.....	5

と

吐出不良.....	120
ドット位置補正.....	28, 47, 63, 72
トッププロワ.....	80
トルクリミッター.....	52

ね

ネットワーク.....	81
-------------	----

の

ノズル洗浄.....	76, 122
ノズルチェックメニュー.....	88
ノズルリカバリ.....	76
ノットレディモード.....	27

は

バージョン.....	89
廃インクタンク.....	20, 77, 89, 93, 114, 115
廃インク量補正.....	115
判定条件.....	88

ひ

ヒーター	57, 72
表示言語	81
ピンチローラー	20, 22, 110

い

フィード速度	73
フィード補正	28, 47, 61, 72
吹き付けファン	21, 110
プラテン右端まで移動	76
プラテン	20, 23, 93, 101
プリヒーター	21, 57
プリント原点	67
プリント長	89
プリントヒーター	57
プリント面積	89

へ

ページ間余白	81
ヘッドクリーニング	26, 60
ヘッド高さ	49

ほ

保管洗浄	76, 102
ポストヒーター	20
ポストヒーター	57
ポンプチューブ洗浄	76, 99

ま

マージン	73
巻取スイッチ	80
巻き取りユニット	20, 51
巻取ユニット	80
マシン設定メニュー	80

め

メディア押さえ	93, 101
メディア検出	80
メディア残量	80
メディアセンサー	21, 24, 93, 100
メディアハンガー	53
メディアフィード	26

メディア	51
メニューモード	27
免責事項	5
メンテスペースまで移動	76
メンテナンスカバー	20
メンテナンスメニュー	76

よ

余白フィード方式	81
----------------	----

り

リスト	89
リファレンスガイド	66
リモートモード	26, 27
リレーBOX	136

ろ

ローカルガイダンス	29
ローカルモード	26, 27
ロールホルダー	53
ロールメディア	53
ロジカルシーク	73

わ

ワイパークリーナー	106
ワイパー交換	76, 105
ワイパー	93, 94, 105
ワイピング	89

取扱説明書

2024年1月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

